

# 消防年報

令和 2 年版



山武郡市広域行政組合消防本部



## は し が き

- 1 この年報は、令和3年4月1日現在の本組合消防における消防現況及び令和2年中の主な消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実育成に資するために編集したものです。
- 2 統計は原則として暦年をもって表わし、予算等に関係のある事項については会計年度としたものです。

令和3年8月

山武郡市広域行政組合消防本部



# 目 次

## 総 務

山武郡市広域行政組合格約	1
組合消防の沿革	2
位置と地勢	11
山武郡市広域行政組合消防分布図	12
消防組織図	13
消防庁舎の現況	13
構成市町の概要	14
人口・世帯数の推移	14
対象物との比率	14
職員の定員と現員	14
職員の配置状況	15
職員の階級別勤続年数	15
職員の階級別年齢	15
消防学校等の主な研修	16
職員各種資格取得状況	17
令和2年度歳入歳出予算書（当初）	18
構成市町負担金	18

## 予 防

市町別防火対象物数	19
届出及び証明発行件数	19
中高層防火対象物一覧表	20
市町別中高層防火対象物数	20
消防用設備等設置届出受理件数	21
消防用設備等点検結果報告状況	21
業態別建築同意件数	22
防火対象物定期点検報告制度	23
危険物許認可等事務処理状況	23
危険物製造所等設置状況	24

## 指 令

通信指令システム機器一覧	25
消防救急無線施設の状況	26
通信系統図（消防救急無線系を除く）	27
無線従事者選任状況	28

119番着信状況	28
気象情報受理状況	29
気象状況	29
緊急通報取扱状況	30

## 警 防

消防自動車等の配置状況	31
消防機材配置状況	32
消防団員数	34
消防団車両数	34
管内消防水利一覧表	34
消防機関の出動状況	35
救急活動状況と過去5年間の比較	36
応急手当普及講習実施状況	36
救急隊別出場状況	37
市町別救急発生状況	37
月別救急出場状況	38
曜日別救急出場状況	39
管内管外搬送人員	39
事故種別年齢区分別搬送人員	39
事故種別傷病程度別搬送人員	40
事故種別搬送人員	40
時間別救急出場状況	41
事故種別応急処置状況	41
市町別ドクターヘリ出動件数一覧表	42
年別救助活動状況	43
救助活動状況	43

## 火災統計

火災種別発生状況・出火原因別火災件数・建物用途別焼損面積・初期消火器具使用状況	44
火災概況及び比較表	45
市町別火災発生状況	46
火災件数及び損害状況	46
月別火災発生件数及び損害状況	47
時間別火災発生状況	48
曜日別火災発生状況	48
年別火災原因別件数	49

---

---

# 總務

---

---







# 山武郡市広域行政組合規約 (抜粋)

(昭和 46 年 7 月 10 日 千葉県指令 第 1686 号)

(名称)

第 1 条 この組合は、山武郡市広域行政組合（以下「組合」という。）という。

(組合を組織する市町)

第 2 条 組合は、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町及び横芝光町（以下「関係市町」という。）をもって組織する。

(共同処理する事務)

第 3 条 組合は、次の各号に掲げる事務を共同で処理する。

- (1) 山武郡市の振興整備に関する計画の策定及び実施のための連絡調整に関すること。
  - (2) 山武郡市振興センターの設置、管理及び運営に関すること。
  - (3) 養護老人ホームの設置、管理及び運営に関すること。
  - (4) 電子計算機による処理事務に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。
  - (5) 一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の処理計画の策定、収集、運搬及び処分に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
  - (6) 一般廃棄物処理業（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の許可及び浄化槽清掃業の許可に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
  - (7) 火葬場施設の設置、管理及び運営に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
  - (8) 消防事務（消防団事務を除く。）に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。
  - (9) 視聴覚教材センターの設置、管理及び運営に関すること。
  - (10) 市町職員の共同研修に関すること。
  - (11) 市町職員の統一採用試験の事務に関すること。
  - (12) 山武郡市急病診療所の設置、管理及び運営に関すること。
  - (13) 在宅当番医制事業に関すること。
  - (14) 病院群輪番制方式による 2 次救急医療機関運営事業に関すること。
  - (15) 介護認定審査会の設置及び運営に関すること。
  - (16) 老人ホーム入所判定委員会の設置及び運営に関すること。
  - (17) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号）に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の設置及び運営に関すること。
  - (18) 教育相談センターの設置、管理及び運営に関すること。
  - (19) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく手話奉仕員養成研修事業に関すること。
  - (20) 行政不服審査法(平成 26 年法律第 68 号)第 81 条第 1 項に規定する機関の設置及び運営に関すること。
- (21) 前各号に附帯する事務

(事務所の位置)

第 4 条 組合の事務所は、千葉県東金市東岩崎 1 番地 1 7 山武郡市振興センター内に置く。

# 組 合 消 防 の 沿 革

- 昭和42年 4月 1日 東金市消防本部発足 水槽付ポンプ自動車1台・普通ポンプ自動車1台・指揮車1台
- 45年12月 1日 山武郡市（横芝町を除く。）は、広域組合消防の指定を受け、消防事務を共同処理することを決定した。
- 48年 4月 1日 政令指定を受ける。  
消防長に組合管理者石橋一弥氏が事務取扱、次長に金沢禎二氏が就任  
山武郡市広域行政組合消防本部発足 構成市町村は、東金市・大網白里町・九十九里町・成東町・山武町・蓮沼村・松尾町・芝山町の1市6町1村、消防職員31名東金市消防本部より移行 消防庁舎・車輛等備品類は東金市より贈与される。消防職員23名採用、実員54名となる。
- 48年 6月26日 千葉県共済農業共同組合連合から救急車1台寄贈される。  
芝山町役場内に救急隊（救急車1台、隊員8名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48年 7月 1日 救急車2台購入、救急車4台となる。  
大網白里町・九十九里町・各役場内に救急隊（救急車2台、隊員16名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48年10月 1日 水槽付ポンプ自動車3台・普通ポンプ自動車1台購入、ポンプ自動車6台となる。
- 48年11月14日 連絡車1台・査察車1台購入、本部に配置する。
- 48年12月 1日 消防職員 実員65名となる。
- 49年 2月 1日 日本自動車工業会から救急車1台寄贈され本署に配置、旧救急車を廃車する。
- 49年 7月 1日 普通ポンプ自動車東金市消防団へ払下げ、ポンプ自動車5台となる。
- 49年 8月 1日 成東町役場救急業務を引継ぎ救急隊員8名を配置し、救急業務を開始する。
- 49年10月 1日 水槽付ポンプ自動車2台購入、ポンプ自動車7台となる。
- 49年11月 1日 九十九里分遣所落成、職員6名増員し、分遣所実員14名、水槽付ポンプ自動車、救急車各1台配置、業務を開始する。
- 49年12月 1日 大網白里分遣所落成、職員6名増員し、分遣所実員14名、水槽付ポンプ自動車、救急車各1台配置、業務を開始する。消防職員 実員93名となる。
- 50年 1月 1日 芝山分遣所落成、職員6名増員し、分遣所実員14名、水槽付ポンプ自動車、救急車各1台配置、業務を開始する。
- 50年 2月23日 消防長に組合管理者早野尚治氏が事務取扱となる。
- 50年 4月 1日 大網白里・九十九里・芝山分遣所に2名増員し、各分遣所実員16名となる。
- 50年 6月 1日 山武分遣所落成、職員16名、水槽付ポンプ自動車、救急車各1台配置、業務を開始する。
- 50年 8月30日 化学消防自動車1台購入、本署に配置する。
- 50年11月 6日 消防指揮車1台購入、本署に配置する。
- 50年12月31日 消防職員 実員115名となる。
- 51年 4月 1日 東金ライオンズクラブから緊急用赤バイク寄贈される。
- 51年 4月 1日 特別救助隊が編成される。
- 51年 9月 1日 次長に小出喜朗氏が就任
- 51年12月31日 消防職員 実員123名となる。
- 52年12月31日 消防職員 実員124名となる。
- 53年 3月18日 新東京国際空港公団、成田市消防本部、佐原市外五町消防組合消防本部、佐倉市外2町消防組合消防本部、八日市場市外3町消防組合消防本部、富里町消防本部、栄町消防本部と新東京国際空港消防相互応援協定を締結する。

- 昭和53年 6月 1日 蓮沼村役場内に救急車1台、職員8名配置し、救急業務を開始する。
- 53年12月31日 消防職員 実員134名となる。
- 54年 3月14日 化学消防車1台購入、芝山分遣所に配置する。
- 54年 4月14日 千葉県消防設備保守協会から広報車寄贈され、消防本部に配置する。
- 54年 8月29日 東金ロータリークラブから救急車1台寄贈される。
- 54年12月31日 消防職員 実員137名となる。
- 55年 3月26日 水槽付ポンプ自動車1台、普通ポンプ自動車1台、救急車1台購入 (東消防署 (仮称) 配置用)
- 55年 4月17日 日本損害保険協会から水槽付ポンプ自動車1台寄贈され、消防署に配置する。
- 55年10月 1日 東消防署開設準備室を消防署に配置、職員26名を配置準備開始する。消防連絡車3台購入、東消防署準備室・芝山分遣所・山武分遣所に配置する。
- 55年11月 1日 成東町に2町1村 (成東町・松尾町・蓮沼村) の消防業務を実施する東消防署落成。職員26名、水槽付ポンプ自動車2台、普通ポンプ自動車1台、救急車2台 (内1台予備車) 配置、業務を開始する。同時に機構改革し、消防署を中央消防署に改称。成東救急隊、蓮沼救急隊を廃止する。
- 55年12月31日 消防職員 実員143名となる。
- 56年 6月 1日 八日市場市外3町消防組合消防本部に119番転送装置を設置する。(平成10年5月31日解除)
- 56年 6月30日 消防連絡車2台購入、大網白里分遣所・九十九里分遣所に配置する。
- 56年12月31日 消防職員 実員150名となる。
- 57年 4月 1日 消防職員 実員155名となる。
- 57年 4月25日 消防長に組合管理者野口洋一氏が事務取扱となる。
- 57年 7月 1日 消防長に古川幸男氏が就任
- 57年12月14日 救助工作車購入し、中央消防署に配置する。
- 57年12月27日 東金市田間 太田昭雄氏から指揮車寄贈され、中央消防署に配置する。
- 58年 4月 1日 消防本部課制施行 (総務課・予防課・警防課) され実員154名となる。
- 58年 8月 1日 八日市場市外3町消防組合、佐倉市外2町消防組合と消防相互応援協定を締結する。
- 58年 9月14日 消防団本部に消防無線移動局10W3基 (東金市、九十九里町、山武町) 配置する。
- 58年11月17日 救急車購入し、芝山分遣所に配置する。
- 59年 1月28日 水槽付ポンプ自動車1台購入、東消防署に配置する。
- 59年 6月 1日 佐倉市外2町 (組) 消防本部、八街分署に直通電話を設置する。(平成5年9月1日解除)
- 59年 9月 1日 消防団本部に消防無線移動局10W5基 (大網白里町、成東町、松尾町、芝山町、蓮沼村) 配置する。
- 59年 9月29日 水槽付ポンプ自動車1台購入、九十九里分遣所に配置する。
- 59年 9月29日 救急車1台購入、大網白里分遣所に配置する。
- 59年12月25日 資材運搬車 (軽四輪貨物) 購入、消防本部に配置する。
- 60年10月 1日 消防音楽隊を発足する。
- 60年11月 8日 水槽付ポンプ自動車1台購入、芝山分遣所に配置する。
- 61年 3月28日 日本損害保険協会から救急車1台寄贈され、中央消防署に配置する。
- 61年 7月 1日 白里救急隊発足、救急業務を開始する。
- 61年11月18日 水槽付ポンプ自動車、救急車各1台購入、山武分遣所に配置する。
- 61年12月 1日 白里救急隊庁舎落成。職員8名、水槽付ポンプ自動車、救急車各1台配置し、消防業務を開始する。

- 昭和62年 4月 1日 大網白里分遣所を南消防署に改称、1本部、3署、3分遣所、1救急隊となる。
- 62年 4月 1日 消防職員 実員160名となる。
- 62年12月10日 水槽付ポンプ自動車、救急車各1台購入、中央消防署に配置する。
- 63年 4月 1日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課指令係が指令課となり、4課制となる。
- 63年 4月 1日 消防職員 実員164名となる。
- 63年 5月 1日 消防長に片岡六郎氏が就任
- 63年 7月27日 日本消防協会から電源照明用資器材等搬送車寄贈される。東消防署に配置する。
- 63年12月15日 化学消防ポンプ自動車1台購入、芝山分遣所に配置する。
- 平成 元年 4月 1日 無線中継局設置、救急波導入、運用開始する。
- 元年 4月 1日 消防職員 実員165名となる。
- 元年10月25日 「千葉市、茂原市及び大網白里町の行政区域にかかるゴルフ場の火災救急等消防活動に関する申し合わせ。」について協定する。
- 元年12月28日 水槽付ポンプ自動車1台購入、南消防署に配置する。
- 3年 1月12日 水槽付ポンプ自動車1台購入、東消防署に配置する。
- 3年 3月28日 日本損害保険協会から救急車1台寄贈され、白里救急隊に配置する。
- 3年 4月 1日 消防長に谷上順氏が就任
- 3年 9月 2日 日本損害保険協会から消防指令広報車寄贈され、消防本部に配置する。
- 3年11月25日 水槽付ポンプ自動車1台購入、中央消防署に配置する。
- 4年 2月26日 日本損害保険協会から救急車1台寄贈され、九十九里分遣所に配置する。
- 4年 4月 1日 消防職員 実員169名となる。
- 5年 3月 3日 梯子付消防自動車(40m)1台購入、中央消防署に配置する。
- 5年 4月 1日 消防職員 実員173名となる。
- 5年 5月21日 広報車1台更新、予防課に配置する。
- 5年 8月 1日 消防職員4名採用、実員174名となる。
- 5年11月30日 水槽付ポンプ自動車1台購入、九十九里分遣所に配置する。
- 6年 4月 1日 消防職員15名採用、実員186名となる。
- 6年 4月 1日 消防長職務代理者に次長櫻田光夫氏が就任
- 6年 8月 1日 消防職員4名採用、実員187名となる。
- 6年 8月31日 連絡車1台更新、東消防署に配置する。
- 6年11月30日 連絡車2台更新、山武分遣所・芝山分遣所に配置する。
- 7年 1月10日 化学消防ポンプ自動車1台更新、中央消防署に配置する。
- 7年 3月16日 救急自動車1台更新、芝山分遣所に配置する。
- 7年 4月 1日 消防職員12名採用、実員198名となる。(週40時間勤務に対応)
- 7年 4月 5日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 7年 9月 8日 平成7年度千葉県救急医療功労者として山武郡市広域行政組合消防本部が表彰される。
- 7年11月 2日 高規格救急自動車第1号を中央消防署へ配置する。(更新)
- 7年11月 6日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署に配置する。
- 8年 1月17日 緊急消防援助隊旗交付される。
- 8年 4月 1日 消防職員3名採用、実員200名となる。
- 8年 4月 9日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 8年 7月30日 連絡車1台更新、九十九里分遣所に配置する。
- 8年 8月29日 消防職員条例定数改正、258名となる。(平成9年4月施行)
- 8年10月 1日 消防組織法改正に伴い消防職員委員会を設置する。

- 平成 8年10月14日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ1名研修
- 9年 3月11日 救急自動車(2B)2台更新、東、南消防署に配置する。
- 9年 3月31日 救助工作車II型更新、中央消防署に配置する。
- 9年 4月 1日 消防職員6名採用、実員206名となる。
- 9年 4月 1日 消防長に櫻田光夫氏が就任
- 9年 4月 8日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ1名研修
- 9年 6月24日 人員搬送車としてマイクロバスを更新する。
- 9年 8月 7日 連絡車1台更新、山武分遣所に配置する。
- 9年12月 1日 中央消防署増改築工事が完成する。
- 10年 3月 3日 救急自動車(2B)更新、山武分遣所に配置する。
- 10年 4月 1日 東金・成東警察署との専用回線を開設する。(平成25年1月31日解除)
- 10年 4月 1日 消防緊急通信指令施設(II型)更新、運用を開始する。
- 10年 4月 1日 消防職員7名採用、実員212名となる。
- 10年 4月 1日 松尾町八田地区(約350住戸)の119番通報が全て当消防本部へ入電するようになる。
- 10年 4月 1日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に財務係、予防課に査察係を設ける。
- 10年 5月20日 東消防署訓練施設用地購入(820㎡)に係わる契約を締結する。
- 10年10月 8日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 10年12月16日 高規格救急自動車第2号を東消防署に配置する。(更新)
- 11年 3月 1日 救急自動車(2B)更新、九十九里分遣所に配置する。
- 11年 3月23日 南消防署白里救急隊庁舎増築工事が完成する。
- 11年 3月31日 指揮原因調査車更新、警防課に配置する。
- 11年 4月 1日 消防職員7名採用、実員218名となる。
- 11年 4月 8日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 11年 5月 1日 書庫の整備(アクアプラント内、庁舎)
- 11年 8月 1日 成田市・芝山町・山武郡市広域行政組合消防相互応援協定を締結する。
- 11年10月13日 (財)救急振興財団 救急救命九州研修所へ1名研修
- 11年10月24日 指揮車更新、中央消防署に配備する。
- 12年 3月21日 救急自動車(2B)更新、芝山分遣所に配備する。
- 12年 3月22日 水槽付ポンプ自動車(救助資器材装備)更新、芝山分遣所に配置する。
- 12年 4月 1日 消防職員7名採用、実員224名となる。
- 12年 4月 1日 3消防署に日勤の副署長を置く。
- 12年 4月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 12年 5月 1日 「消防力適正配置検討委員会」を設置する。
- 12年 9月 1日 第21回七都縣市合同防災訓練が東金市「千葉県会場」で開催される。
- 12年10月12日 連絡車1台更新、警防課に配置する。
- 13年 2月23日 消防力適正配置検討委員会での調査報告書を答申する。
- 13年 3月 8日 山武郡市広域行政組合消防本部、大網白里町消防団に消防庁長官表彰旗が授与される。
- 13年 3月23日 水槽付ポンプ自動車(救助資器材装備)更新、山武分遣所に配置する。
- 13年 3月31日 山武郡市振興センター内の消防本部事務室の改修工事が完了する。
- 13年 4月 1日 消防職員7名採用、実員230名となる。
- 13年 4月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 13年 9月20日 連絡車1台更新、総務課に配置する。
- 13年10月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修

- 平成13年12月17日 水槽付ポンプ自動車更新、中央消防署に配置する。
- 13年12月21日 高規格救急自動車第3号を南消防署に配置する。(更新)
- 14年 2月 6日 消防施設整備計画を策定する。
- 14年 4月 1日 消防職員10名採用、実員235名となる。
- 14年 4月 1日 消防長に秋葉治夫氏が就任
- 14年 8月30日 梯子付消防自動車のオーバーホールを完了する。
- 14年 9月25日 査察広報車更新、予防課へ配置する。
- 14年10月 1日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ1名研修
- 14年11月12日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「さいたま市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 14年12月13日 高規格救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 15年 1月18日 千葉県主催「防災フェアちば2003 in 東金」が東金市・山武郡市広域行政組合消防本部  
19日 共催で開催される。
- 15年 3月14日 芝山分遣所庁舎建設用地購入 (3,642.09 m<sup>2</sup>)
- 15年 3月25日 水槽付ポンプ自動車(救助資機材装備)更新、南消防署に配置する。
- 15年 4月 1日 消防職員12名採用、実員242名となる。
- 15年 9月 3日 広報車1台更新、予防課に配置する。
- 15年10月 7日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 15年10月28日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「甲府市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 15年11月 3日 今関十九二氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 16年 4月 1日 消防職員9名採用、実員246名となる。
- 16年 4月 1日 消防長に古川勝也氏が就任
- 16年 4月 5日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 16年10月 4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 16年12月10日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署へ配置する。
- 16年12月15日 救急自動車(2B)更新、白里救急隊に配置する。
- 17年 2月28日 芝山分遣所庁舎移転新築工事が完成する。
- 17年 4月 1日 3分遣所を分署、1救急隊を出張所と改称する。
- 17年 4月 1日 消防職員5名採用、実員249名となる。
- 17年 4月 1日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ1名研修
- 17年 4月 5日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 17年10月 4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 17年12月20日 高規格救急自動車第4号を山武分署に配置する。(更新)
- 18年 3月27日 成東町、山武町、松尾町、蓮沼村が合併し、山武市となる。
- 18年 4月 1日 消防職員5名採用、実員251名となる。
- 18年 4月 1日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に企画係を設け、警防課の救急救助係を救急係に改め、新たに救助係を設ける。
- 18年 4月 6日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 18年10月 1日 消防職員1名採用
- 18年11月14日 水槽付ポンプ自動車を更新、中央消防署に配置する。
- 18年12月22日 高規格救急自動車第5号を九十九里分署に配置する。(更新)
- 18年12月22日 高規格救急自動車第6号を東消防署に配置する。(更新)
- 19年 2月 2日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、第3ブロック指揮隊、救助部隊が参加する。

- 平成19年 4月 1日 消防職員7名採用、実員256名となる。
- 19年 4月 1日 救急隊1隊増隊し高規格救急自動車第2号を中央消防署へ配置する。
- 19年 4月 6日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 19年 9月 1日 第28回八都府合同防災訓練が「市原市」で開催され、救助部隊、救急部隊が参加する。
- 19年 9月10日 横浜市安全管理局、救急救命士養成所へ1名研修
- 19年10月20日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「前橋市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 20年 2月 1日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 20年 2月25日 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新、芝山分署へ配置する。
- 20年 2月29日 水槽付ポンプ自動車を更新、九十九里分署へ配置する。
- 20年 4月 1日 消防職員7名採用、実員258名となる。
- 20年 4月 1日 消防長に布留川富夫氏が就任
- 20年 4月 4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 20年 9月 9日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 20年11月 3日 小出喜朗氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 20年12月 3日 消防職員1名採用
- 21年 1月30日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 21年 2月17日 災害対応特殊救急自動車第7号を芝山分署へ配置する。(更新)
- 21年 4月 1日 消防職員4名採用
- 21年 4月 6日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 21年 9月 5日 第30回八都府合同防災訓練が山武市「千葉県会場」で開催
- 21年 9月 9日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 21年11月 3日 片岡六郎氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 21年11月14日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「千葉市会場」で開催され、消火部隊及び救助部隊が参加する。
- 22年 4月 1日 消防職員4名採用
- 22年 4月 6日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 22年 4月29日 谷上順氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 22年 6月 1日 消防職員1名採用
- 22年 9月 9日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 23年 1月27日 消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新、白里出張所へ配置する。
- 23年 3月20日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第3次派遣隊として消火部隊及び後方支援部隊10名で、岩手県陸前高田市へ出動する。
- 23年 3月28日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第6次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊6名で、福島県福島市へ出動する。
- 23年 4月 1日 消防職員5名採用
- 23年 4月 1日 消防長に元倉斗史一氏が就任
- 23年 4月 1日 条例定数278名に改正
- 23年 4月 1日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第7次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊の交代要員6名で、福島県福島市へ出動する。
- 23年 4月 4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 23年 9月 9日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 24年 2月29日 東金市家徳に消防本部・中央消防署合同庁舎が完成
- 24年 3月22日 高規格救急自動車第1号更新、中央消防署へ配置する。

- 平成24年 3月27日 消防本部・中央消防署合同庁舎落成式開催
- 24年 4月 1日 消防職員12名採用、実員263名となる。
- 24年 4月 1日 中央消防署へ指揮隊を配置する。
- 24年 4月 5日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 24年 9月10日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 25年 1月 1日 大網白里町が市制施行し、大網白里市となる。
- 25年 1月29日 支援車Ⅱ型1台購入、中央消防署に配置する。
- 25年 1月31日 消防本部指令課が消防本部・中央消防署合同庁舎へ移転する。
- 25年 2月19日 山武郡市広域行政組合消防庁舎建設基本計画を策定する。
- 25年 2月24日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 25年 3月21日 高規格救急自動車更新、南消防署に配置する。
- 25年 4月 1日 ちば消防共同指令センター（千葉県北東部・南部ブロックの20消防（局）本部による）が開設する。
- 25年 4月 1日 東消防署及び南消防署へ指揮隊を配置する。
- 25年 4月 1日 消防職員13名採用、実員267名となる。
- 25年 4月 1日 消防長に大塚雅彦氏が就任
- 25年 4月 4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 25年 7月25日 連絡車3台購入。中央消防署、東消防署及び南消防署に配置する。
- 25年 9月 3日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年 1月24日 災害対応特殊救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 26年 1月30日 高規格救急自動車更新、東消防署に配置する。
- 26年 2月 1日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 26年 3月13日 消防ポンプ自動車（CD-I型）更新、南消防署に配置する。
- 26年 4月 1日 南消防署にポンプ小隊を1隊増隊する。
- 26年 4月 1日 消防職員15名採用、実員272名となる。
- 26年 4月 4日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年 6月27日 南消防署庁舎建設用地購入（3,145.44㎡）
- 26年 9月 1日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 26年11月 3日 秋葉治夫氏（元職員）叙勲（秋の叙勲）受章
- 26年11月 3日 小倉静雄氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 26年11月 5日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「浜松市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 26年11月19日 指揮車更新、東消防署に配置する。
- 27年 1月31日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。
- 27年 3月12日 化学消防自動車（Ⅱ型）更新、中央消防署に配置する。
- 27年 3月12日 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入、中央消防署に配置する。
- 27年 4月 1日 消防職員19名採用、実員273名となる。
- 27年 4月 1日 消防長に押田信明氏が就任
- 27年 4月 1日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課の調査係を予防課調査係に、予防課指導係を予防課危険物係に改める。
- 27年 4月 3日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 27年 4月29日 今関多田雄氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 27年 8月10日 東消防署山武分署庁舎移転工事が完了
- 27年 9月 2日 (財)救急振興財団 救急救命東京研修所へ1名研修
- 27年 9月28日 東消防署山武分署庁舎落成式開催



- 平成27年11月 3日 岩崎喜好氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 27年11月13日 緊急消防援助隊全国合同訓練が千葉県内各地で開催され、当組合消防本部管内の山武市が被災地想定となり、山武市災害対策本部及び当組合消防本部指揮本部が参加する。
- 27年11月14日 緊急消防援助隊全国合同訓練が千葉県内各地で開催され、被災地消防本部として指揮小隊、消火小隊、救助小隊が参加する。
- 28年 3月 7日 救助工作車（Ⅲ型）1台、高度救助用器具及びNBC資器材購入、中央消防署に配置する。既存救助工作車（Ⅱ型）を東消防署に配置する。
- 28年 3月 9日 消防ポンプ自動車（CD-I型）2台購入、東消防署及び九十九里分署に配置する。
- 28年 3月24日 高度救助隊発隊式開催
- 28年 4月 1日 中央消防署に高度救助隊、東消防署に特別救助隊、南消防署に救助隊を配置する。
- 28年 4月 1日 消防職員14名採用、実員273名となる。
- 28年 4月 1日 消防長に鈴木嘉宏氏が就任
- 28年 4月 4日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 28年 5月 1日 消防職員1名採用
- 28年 7月 1日 消防職員1名採用
- 28年 9月 1日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 28年 9月 1日 消防職員2名採用
- 28年11月 3日 加瀬操氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 28年12月14日 指揮車更新、南消防署に配置する。
- 29年 1月 5日 九十九里分署庁舎建設用地購入（4,283.11㎡）
- 29年 1月21日 千葉県広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、ブロック方面指揮隊、救助小隊、救急小隊が参加する。
- 29年 2月23日 高規格救急自動車第8号を白里出張所に配置する。
- 29年 2月24日 高規格救急自動車更新、山武分署に配置する。
- 29年 2月27日 高規格救急自動車更新、九十九里分署に配置する。
- 29年 2月28日 南消防署移転工事が完了
- 29年 3月13日 南消防署庁舎落成式開催
- 29年 4月 1日 消防職員9名採用、実員274名となる。
- 29年 4月 1日 総務省消防庁へ1名研修派遣（平成31年3月31日まで）
- 29年 4月 5日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 29年 9月 1日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 29年 9月 1日 消防職員1名採用
- 29年10月24日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「群馬県太田会場、桐生広沢会場、桐生相生会場、高崎会場」で開催され、救急小隊が参加する。
- 29年11月 3日 古川勝也氏（元職員）叙勲（秋の叙勲）受章
- 29年11月 3日 中村和美氏（元職員）叙勲（危険分野）受章
- 29年12月13日 指揮支援車更新、芝山分署に配置する。
- 30年 1月27日 千葉県広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、ブロック方面指揮隊、消火小隊、救急小隊が参加する。
- 30年 2月27日 高規格救急自動車更新、南消防署に配置する。
- 30年 3月 1日 指揮支援車更新、九十九里分署に配置する。
- 30年 3月 6日 高規格救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 30年 3月14日 高規格救急自動車更新、芝山分署に配置する。

- 平成30年 4月 1日 消防職員9名採用、実員274名となる。
- 30年 4月 1日 消防長に秋葉誠二氏が就任
- 30年 4月 5日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 30年 8月31日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 30年11月 3日 伊藤勝良氏(元職員)、磯部壽氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 30年11月30日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「相模原会場、厚木会場」で開催され、救助小隊、後方支援小隊が参加する。
- 31年 1月29日 指揮支援車更新、山武分署に配置する。
- 31年 2月27日 指揮車更新、中央消防署に配置する。
- 31年 4月 1日 消防職員6名採用、実員273名となる。
- 31年 4月 1日 総務省消防庁へ1名研修派遣(令和3年3月31日まで)
- 31年 4月 1日 消防長に佐久間健氏が就任
- 31年 4月 4日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 令和元年 5月31日 鈴木達夫氏(元職員)、安美留昭氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 元年 6月27日 総務省消防庁より無償使用車両として中型水陸両用車及び搬送車が配備される。中央消防署に配置する。
- 元年 8月28日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 元年12月10日 杉浦正敏氏(元職員)、石川功夫氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 2年 2月29日 中央消防署九十九里分署移転工事が完了
- 2年 3月15日 梯子車更新、中央消防署に配置する。
- 2年 3月26日 救助工作車Ⅱ型更新、東消防署に配置する。
- 2年 3月26日 中央消防署九十九里分署落成式開催
- 2年 4月 1日 消防職員16名採用、実員272名となる。
- 2年 4月 1日 消防長に中村喜和氏が就任
- 2年 4月 6日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 2年 4月29日 鈴木豊氏(元職員)、伊橋茂氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 2年 9月 4日 (財)救急振興財団救急救命東京研修所へ1名研修
- 2年 9月10日 水上オートバイ1台購入、九十九里分署に配置する。
- 2年11月 3日 鈴木弘氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 2年11月16日 調査車更新、消防本部に配置する。
- 2年12月18日 高規格救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 2年12月27日 高規格救急自動車更新、東消防署に配置する。
- 3年 4月 1日 消防職員9名採用、実員273名となる。
- 3年 4月 1日 総務省消防庁へ1名研修派遣(令和5年3月31日まで)

# 位置と地勢

## 位置

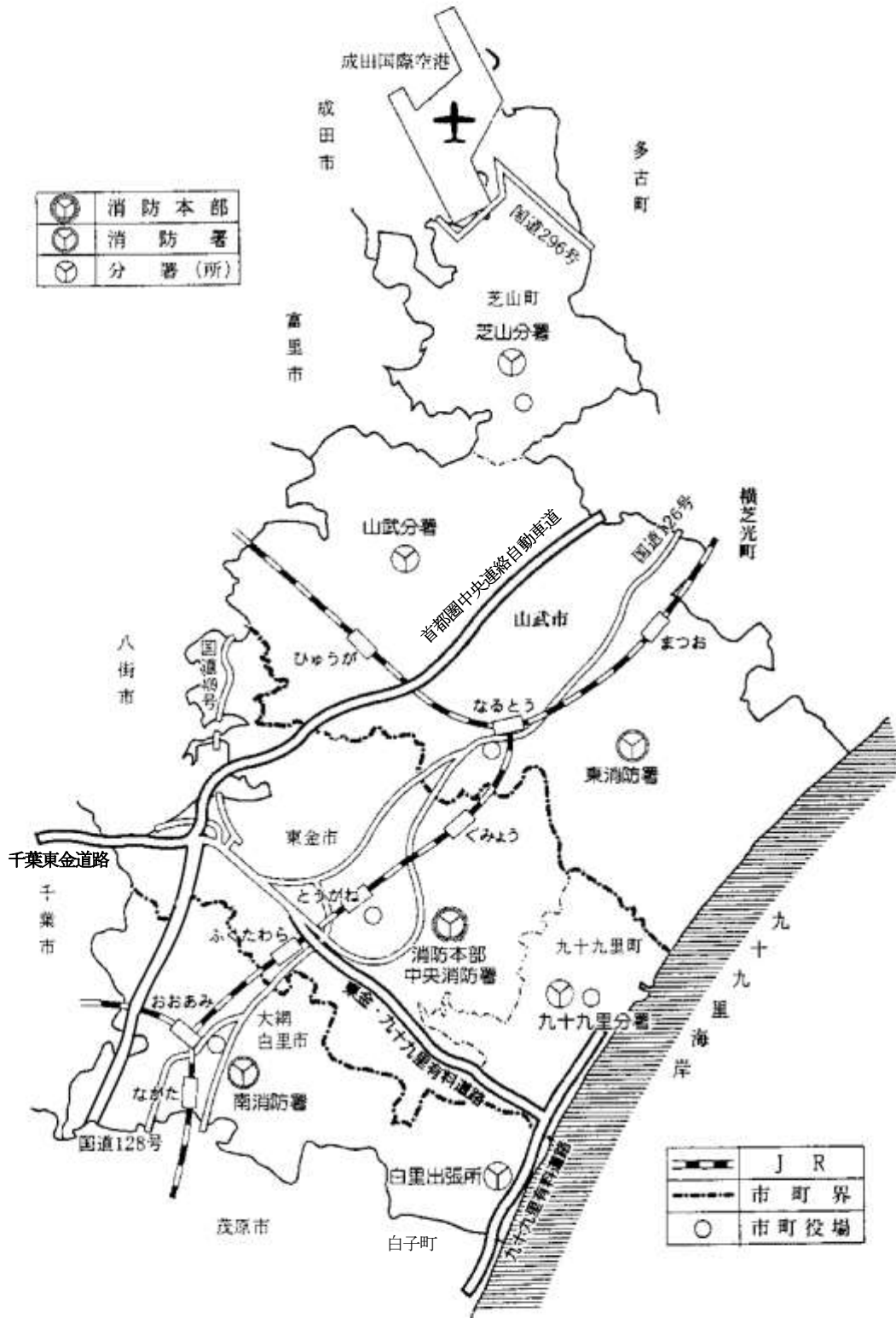
山武郡市は、千葉県の一部に位置し、九十九里平野の中央部と両総台地の一部からなっており、北は香取郡、匝瑳市及び成田市、西は八街市、富里市及び千葉市と接し、更に南は長生郡市に連なり、東方一帯は太平洋に面している。

## 地勢

地形は、ほぼ矩形をなし、西高東低で東方一帯は緩く九十九里海岸は弓状の長浜となり、南西部から北西部に続く両総台地は、標高 40m から 100m の洪積台地で表面は、一般に関東ローム層に被われている。その中間の平野地帯は、主として低層泥炭地と旧砂丘とからなる洪積平野である。

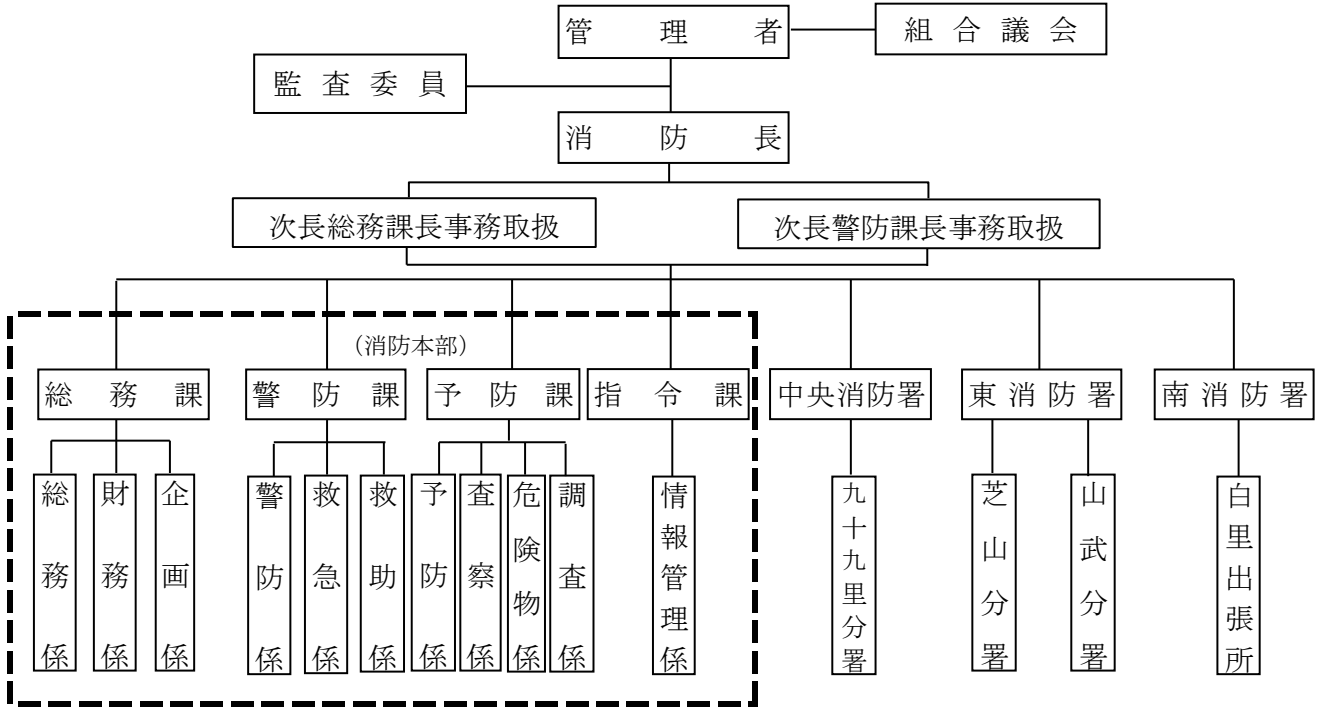


# 山武郡市広域行政組合消防分布図



# 消 防 組 織 図

(令和3年4月1日)



## 消 防 庁 舎 の 現 況

区分 施設名	所在地	建 年 月 日	本体庁舎構造	本体庁舎延面積	敷地面積
消 防 本 部 中 央 消 防 署	東金市家徳384-2	H24. 2	鉄筋コンクリート造 4 階 建	3,089.08㎡	7,008.04㎡
東 消 防 署	山武市上横地6710	S55.10	鉄筋コンクリート造 2 階 建	532.80㎡	5,349.00㎡
南 消 防 署	大網白里市富田860-1	H29. 2	鉄筋コンクリート造 2 階 建	1,439.32㎡	4,858.34㎡
九十九里分署	九十九里町片貝260	R2.2	鉄筋コンクリート造 2 階 建	1,046.94㎡	4,283.18㎡
芝 山 分 署	芝山町宝馬233	H17. 2	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	896.22㎡	3,642.09㎡
山 武 分 署	山武市埴谷1874-1	H27. 8	鉄筋コンクリート造 2 階 建	1,078.10㎡	4,617.49㎡
白 里 出 張 所	大網白里市南今泉4616-1	S61.12	鉄 骨 造 平 屋 建	130.01㎡	744.25㎡

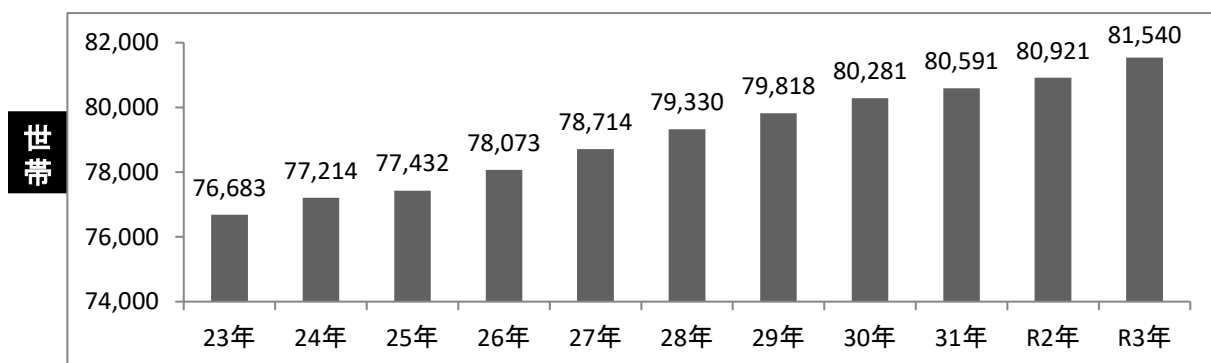
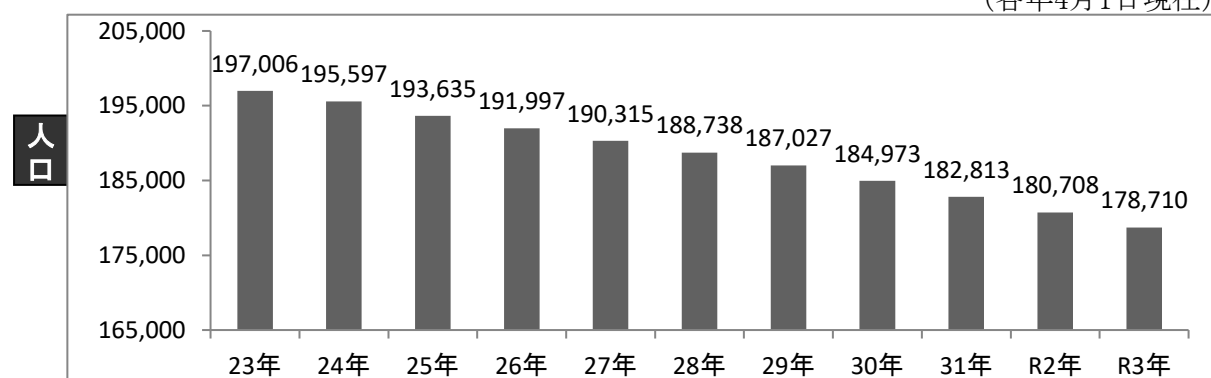
## 構成市町の概要

(令和3年4月1日現在)

市町名	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)			世帯数(世帯)
		男	女	計	
東金市	89.12	28,820	28,631	57,451	26,882
山武市	146.77	25,284	24,768	50,052	22,488
大網白里市	58.08	24,067	24,794	48,861	21,991
九十九里町	24.46	7,588	7,655	15,243	7,130
芝山町	43.24	3,607	3,496	7,103	3,048
計	361.67	89,366	89,344	178,710	81,539

## 人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)



## 対象物との比率

(令和3年4月1日現在)

単 位	面 積(km <sup>2</sup> )	人 口(人)	世帯数(世帯)
消防職員1人当り	1.32	654.62	298.68
自動車ポンプ1台当り	27.82	13,746.92	6,272.23

## 職員の定員と現員

(令和3年4月1日現在)

区分	階級	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	その他の職員	計
		正	監	司令長	司令	司令補	士	長	副士長		
定 員											278
現 員		1	6	4	56	81	56	21	48		273

## 職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

区分	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
本 部	消 防 長	1										1
	総 務 課			1	1	2	4	2				10
	警 防 課			1	1	4	2	4		1		13
	予 防 課			1		3	4	3		1		12
	指 令 課			1		4	3	4	2			14
署 所	中 央 消 防 署			1		9	21	10	9	16		66
	九 十 九 里 分 署					6	5	3	3	6		23
	東 消 防 署			1		9	10	12		6		38
	芝 山 分 署					6	7	4		6		23
	山 武 分 署				1	5	9	1	2	5		23
	南 消 防 署				1	6	10	12	4	6		39
	白 里 出 張 所					2	6	1	1	1		11
計		1	6	4	56	81	56	21	48		273	

## 職員の階級別勤続年数

(令和3年4月1日現在)

年 数	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
5 年 未 満									6	44		50
5 年 以 上 ~ 10 年 未 満								37	15	4		56
10 年 以 上 ~ 15 年 未 満							10	17				27
15 年 以 上 ~ 20 年 未 満							38	2				40
20 年 以 上 ~ 25 年 未 満						18	13					31
25 年 以 上 ~ 30 年 未 満						27	18					45
30 年 以 上		1	6	4	11	2						24
計		1	6	4	56	81	56	21	48			273

## 職員の階級別年齢

(令和3年4月1日現在)

年 齢	階級	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
18 歳 ~ 20 歳										11		11
21 歳 ~ 25 歳								2	9	33		44
26 歳 ~ 30 歳								32	12	4		48
31 歳 ~ 35 歳							10	16				26
36 歳 ~ 40 歳							27	4				31
41 歳 ~ 45 歳						21	30	2				53
46 歳 ~ 50 歳						27	13					40
51 歳 ~ 55 歳					2	6	1					9
56 歳 ~ 60 歳		1	6	2	2							11
計		1	6	4	56	81	56	21	48			273

# 消防学校等の主な研修

(令和3年4月1日現在)

区分		年度別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予定)
消防 大学 校	幹部科				1	1		
	上級幹部科							
	警防科							
	救助科	1	1					1
	救急科							
	予防科				1			1
	火災調査科							
	高度救助・ 特別高度救助コース	1	1	1			1	
	NBCコース		1	1	1	1	1	
県 消 防 学 校	初任科	11	13	8	6	3	10	
	特殊災害科	1	1	1	1	1	1	
	予防査察科	1	4	3	3	2	2	
	危険物科				1	1		
	火災調査科			1	2	2	2	
	救急科	6	7	3	10	6	8	
	救助科	2	2	2	2	4	3	
	初級幹部科							
	訓練指導科	2	2	2	2		2	
	はしご講習	2	2	2	2	2	2	
	水難救助科				2	1	1	
	高度救助科				2	1	1	
	救急救命士処置範囲 拡大2行為追加講習	8	4	1				
	一般救命士再教育					1		
そ の 他	救急救命士研修所	2	2	2	2	2	2	
	指導救命士養成研修	1		1				
	救助潜水土養成講習	6	6	2	1	1	1	
	行政 組合 職員 研修	初級職員研修	7	7				
		中級職員基礎研修	2	2	2	2	2	2
		中級職員応用研修	2	2	2	2	2	2
		中堅職員基礎研修	2	2	1	2	2	2
		中堅職員応用研修	2	2	2	2	2	2
		管理職員研修	2	2	2	2		2
		接遇セミナー						
		人事評価者研修	3	3	3	3	2	2
		メンタルヘルス セミナー						
	公務員倫理							
県自治専門校研修	9	8	8	6	2	8		



# 職員各種資格取得状況

(令和3年4月1日現在)

種別	階級							合計
	消防司令長 以上	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士		
大型自動車運転免許	8	51	75	45	17	11	207	
中型自動車運転免許	3	5	6	10	6	8	38	
大型特殊運転免許	2	10	13	6	2	1	34	
小型船舶免許		14	43	26	7	3	93	
潜水士	1	13	29	30	5	4	82	
陸上特殊無線技士	11	56	80	56	21	20	244	
甲種危険物取扱者	1	2	2				5	
乙種危険物取扱者 (1～6類)	5	20	57	55	19	16	172	
消防設備士甲種	1	1	2				4	
消防設備士乙種	2	5	4				11	
予防技術資格者	4	24	32	15	2		77	
ガス溶接技能講習	7	33	34	15		1	90	
アーク溶接技能講習	2	2	4	2			10	
クレーン免許	1		1	3			5	
小型移動式クレーン	6	23	28	22	1	1	81	
玉掛技能講習	5	22	27	14	1	2	71	
第2種酸素欠乏危険作業 主任者		2	11	5	1		19	
第2種酸素欠乏危険作業 特別講習	3	7	4	3		1	18	
ボイラー技士			2				2	
衛生管理者	2	6	5				13	
救急救命士	2	13	28	4	4	1	52	
ベーシックサーフ ライフセーバー		2	13	2			17	

## 令和2年度歳入歳出予算書（当初）

### 歳 入

(単位 千円)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
1 分担金及び負担金	1 負 担 金	2,756,879	2,791,230	△ 34,351
2 使用料及び手数料	2 手 数 料	1,441	1,129	312
3 国 県 支 出 金	1 国 県 補 助 金	31,718	8,441	23,277
4 そ の 他		193,586	826,452	△ 632,866
歳 入 合 計		2,983,624	3,627,252	△ 643,628

### 歳 出

(単位 千円)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
5 消 防 費	1 消 防 費	2,655,354	3,343,609	△ 688,255
7 公 債 費	1 公 債 費	328,270	283,643	44,627
歳 出 合 計		2,983,624	3,627,252	△ 643,628

## 構成市町負担金

(単位 千円)

区 分 市町名	議員数	本年度予算額	前年度予算額	比 較
東 金 市	2	773,059	767,043	6,016
山 武 市	2	882,447	928,802	△ 46,355
大 網 白 里 市	2	656,688	651,670	5,018
九 十 九 里 町	2	283,601	283,502	99
芝 山 町	2	161,084	160,213	871
計	10	2,756,879	2,791,230	△ 34,351

---

---

# 予 防

---

---





# 市町別防火対象物数

(令和2年12月31日現在)

令別表項別		市町名	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2				2	4	
	ロ	公会堂、集会場	13	7	6	3	4	33	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類							
	ロ	遊技場、ダンスホール	9	4			1	14	
	ハ	風俗営業等(総務省令で定めるもの)							
3	イ	待合、料理店の類	1				1	2	
	ロ	飲食店	29	15	3	8	1	56	
4		百貨店、マーケット、物品販売店舗	72	43	26	12	8	161	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	51	25	6	25	3	110	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	309	79	90	17	21	516	
6	イ	(1)特に防火対策の必要性が高い病院	6	3	3	4	1	17	
		(2)特に防火対策の必要性が高い有床診療所	1					1	
		(3)(1)及び(2)以外の病院・有床診療所・有床助産所	1						1
		(4)無床診療所及び無床助産所	14	10	8				32
	ロ	(1)老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	20	15	13	5	3	56	
		(2)救護施設			3			3	
		(3)乳児入院施設							
		(4)障害児入所施設等							
		(5)障害者支援施設		3	3			6	
	ハ	(1)老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	10	8	4	1	1	24	
(2)更生施設									
(3)助産施設、保育所等		10	10	7	2	3	32		
(4)児童発達支援センター等				3			3		
(5)身体障害者福祉センター等		10	1	4			15		
ニ	幼稚園又は特別支援学校	14	3	13	1	1	32		
7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	78	53	32	13	2	178	
8		図書館、博物館、美術館	1	1		3	4	9	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1					1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場							
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場		1	1			2	
11		神社、寺院、教会の類	8	4	4	2		18	
12	イ	工場、作業場	268	258	57	61	121	765	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫、駐車場	6	10	2	1	13	32	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						2	
14		倉庫	200	165	31	35	113	544	
15		前各項に該当しない事業場	180	139	65	33	65	482	
16	イ	前記用途が存する複合用途防火対象物	66	35	31	14	7	153	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	19	24	9	7	7	66	
16の2		地下街							
16の3		地下道							
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等							
合 計			1,401	916	424	247	384	3,372	

※ 300㎡以上の対象物数

# 届出及び証明発行件数

(令和2年)

種 別	火 災 予 防 条 例													そ の 他					計								
	禁止行為の解除承認申請	火災予防上の必要な業務に関する届出	防火対象物使用開始(変更)届出	消防訓練実施届出	設置(変更)・廃止届出	設置(変更)・廃止届出	電気設備の設置届出	水素ガスを充てんする器具の設置届出	火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為	煙火打上げ・仕掛け届出	催物開催の届出	水道の断水・減水の届出	道路工事の届出	露店等開設の届出	指定洞道の届出	(変更)・廃止届出	(少量危険物の貯蔵・取扱い)・廃止届出	指定可燃物の貯蔵・取扱い(変更)・廃止届出		工事中の消防計画の届出	(変更)・廃止届出	核燃料物質等の貯蔵・取扱い(廃止)届出	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出	防火管理者(選任・解任)届出	消防計画(作成・変更)届出	意見書交付申請	消防法令適合通知書交付申請
	14		185	718	37	141		264	13	2	1	215	22		67	13	1		29	184	238		22	64	5	2,235	

# 中高層防火対象物一覧表

(令和2年12月31日現在)

令別表項別		階 数														計
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階	
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場															
	ロ 公会堂、集会場	4	1													5
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類															
	ロ 遊技場、ダンスホール															
	ハ 風俗営業等(総務省令で定めるもの)															
	ニ カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)															
3	イ 待合、料理店の類															
	ロ 飲食店	8														8
4	百貨店、マーケット、物品販売店舗	9	3			1										13
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	5	4	4	1		1									15
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	83	28	10	4	2	2	1	3			1	4	1		139
6	イ ① 特に防火対策の必要性が高い病院	6	3	3	1	1										14
	イ ② 特に防火対策の必要性が高い有床診療所		1													1
	イ ③ ①及び②以外の病院・有床診療所・有床助産所															
	イ ④ 無床診療所及び無床助産所	1	2	1												4
	ロ ① 老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	10		1												11
	ロ ② 救護施設															
	ロ ③ 乳児院															
	ロ ④ 障害児入所施設等															
	ロ ⑤ 障害者支援施設															
	ハ ① 老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	1	1													2
ハ ② 更生施設																
ハ ③ 助産施設、保育所等																
ハ ④ 児童発達支援センター等																
ニ ⑤ 身体障害者福祉センター等	1														1	
ニ ⑥ 幼稚園又は特別支援学校	4	2													6	
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	42	18	6	2		1									69
8	図書館、博物館、美術館			1												1
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場															
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場															
10	車両の停車場、船舶又は航空機の発着場															
11	神社、寺院、教会の類	2														2
12	イ 工場、作業場	38	6	4				1								49
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ															
13	イ 自動車車庫、駐車場			1												1
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14	倉庫	15	9	5	4		1									34
15	前各項に該当しない事業場	62	12	7											1	82
16	イ 特定用途が存する複合用途防火対象物	54	20	3	1							2				80
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	24	4	2		1	1									32
16の2	地下															
16の3	地下															
17	重要文化財、重要民俗資料、史跡等															
合 計		369	114	48	13	5	6	2	3			1	6	1	1	569

# 市町別中高層防火対象物数

(令和2年12月31日現在)

市町名		階 数														計
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階	
東	金 市	195	58	25	3	3	2		3			1	1		291	
山	武 市	79	25	7	1	1	2					2			117	
大	網 白 里 市	47	19	3	5	1	1	1			1	3			81	
九	十 九 里 町	23	1	1											25	
芝	山 町	25	11	12	4		1	1						1	55	
計		369	114	48	13	5	6	2	3			1	6	1	1	569

# 消防用設備等設置届出受理件数

(令和2年)

消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス ブ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	消 防 用 水	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備	合 計	
92	11	9			1		2	4	1	166	1	15	34	10	96	2							444

# 消防用設備等点検結果報告状況

(令和2年)

1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2
	ロ	公会堂、集會場	35
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	
	ロ	遊技場、ダンスホール	11
	ハ	風俗営業等(総務省令で定めるもの)	
3	イ	待合、料理店の類	1
	ロ	飲食店	77
4		百貨店、マーケット、物品販売店舗	226
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	73
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	63
6	イ	(1) 特に防火対策の必要性が高い病院	18
		(2) 特に防火対策の必要性が高い有床診療所	2
		(3) (1)及び(2)以外の病院・有床診療所・有床助産所	
		(4) 無床診療所及び無床助産所	37
		(5) 老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	67
	ロ	(1) 救護施設	
		(2) 乳児院	
		(3) 障害児入所施設等	
		(4) 障害者支援施設	9
		(5) 老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)	43
	ハ	(1) 更生施設	
		(2) 助産施設、保育所等	35
		(3) 児童発達支援センター等	
ニ	(4) 身体障害者福祉センター等	61	
	(5) 幼稚園又は特別支援学校	27	
7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	48
8		図書館、博物館、美術館	5
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	2
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	5
11		神社、寺院、教会の類	2
12	イ	工場、作業場	38
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫、駐車場	23
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1
14		倉庫	104
15		前各項に該当しない事業場	162
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物	104
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	12
16の2		地下街	
16の3		地下道	
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等	
合 計			1,294

# 業態別建築同意件数

(平成28年～令和2年)

令別表項別		年 別		28年	29年	30年	令和元年	2年	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場			1				
	ロ	公会堂、集会場						1	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類							
	ロ	遊技場、ダンスホール		1					
	ハ	風俗営業等(総務省令で定めるもの)							
	ニ	カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)							
3	イ	待合、料理店の類							
	ロ	飲食店		3	2	2	1	3	
4		百貨店、マーケット、物品販売店舗		12	9	14	9	5	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所			9		3	1	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		13	11	6	4	5	
6	イ	(1)特に防火対策の必要性が高い病院		1				1	
		(2)特に防火対策の必要性が高い有床診療所			1				
		(3)(1)及び(2)以外の病院・有床診療所・有床助産所							
		(4)無床診療所及び無床助産所		3		2	2	2	
	ロ	(1)老人福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)		2	7	5	5	3	
		(2)救護施設					1		
		(3)乳児院							
		(4)障害児入所施設等							
		(5)障害者支援施設							
	ハ	(1)老人福祉施設等(ロ以外の老人福祉施設)		2	2	1	3	1	
		(2)更生施設			1				
		(3)助産施設、保育所等		3	4	2	2	1	
		(4)児童発達支援センター等					2		
		(5)身体障害者福祉センター等			3	2		1	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校			1				
	7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校		2	1		2	2
	8		図書館、博物館、美術館		1		1		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場							
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場							
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場							
11		神社、寺院、教会の類		5	1	6		3	
12	イ	工場、作業場		19	21	20	21	11	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫、駐車場		6	9	14	6		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14		倉庫		30	45	33	25	34	
15		前各項に該当しない事業場		34	68	40	56	51	
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物		6		4	4	3	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		1	4	2	1	1	
16の2	地	下街道							
16の3	地	下道							
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等							
		専用住宅		12	41	21	27	17	
		仮設許可申請					1	3	
		計画変更申請		23	5	12	9	21	
		仮使用承認申請							
		その他(許可通知書)		76	17	22	22	54	
		合計		255	263	209	206	224	



# 防火対象物定期点検報告制度

(令和2年12月31日現在)

令別表項別			市町名	東	山	大	九	芝	合
				金	武	網	十	山	計
			市	市	白	九	町		
			市	市	里	里	町	計	
1	イ	観覧場	対象物	2				1	3
			特例認定						
	ロ	公会堂、集会場	対象物	10	3	3	1	1	18
			特例認定					1	1
2	ロ	遊技場	対象物	7	3			1	11
			特例認定	1	1				2
	ニ	カラオケボックス等	対象物						
			特例認定						
4		物品販売店舗	対象物	17	11	9	5	3	45
			特例認定	3	2	2		1	8
5	イ	旅館、ホテル	対象物	4	2	1	1		8
			特例認定		1		1		2
6	イ(1)	特に防火対策の 必要性が高い病院	対象物	2	1	2	1	1	7
			特例認定						
	ロ(1)	社会福祉施設等 (自力避難困難者の入所施設等)	対象物	1					1
			特例認定						
ハ(1)	老人福祉施設 (ロ以外の老人福祉施設)	対象物		2			1	3	
		特例認定							
ハ(3)	助産施設等 保育所等	対象物	1					1	
		特例認定							
16	イ	特定複合用途 防火対象物	対象物	5	4	2	1		12
			特例認定	2	1				3
合計			対象物	49	26	17	9	8	109
			特例認定	6	5	2	1	2	16

※特例認定制度は、防火対象物点検報告が義務付けられている防火対象物で、申請により消防機関が検査を実施し、一定の要件を満たしている防火対象物については、点検・報告に係る規定を3年間適用しない制度です。

# 危険物許認可等事務処理状況

(令和2年)

申請区分	設置許可申請	変更許可申請	仮使用承認申請	設置完成検査申請	変更完成検査申請	完成検査前検査申請	譲渡・引渡届出	品名・数量変更届出	廃止届出	保安監督者選任・解任届出	完成検査済証再交付申請	予防規程制定・変更申請	仮貯蔵・仮取扱い申請	資料提出(その1)	資料提出(その2)	資料提出(その3)	休止・再開届出	許可証等再交付申請	申請等取下げ届出	災害発生届出	その他	合計
件数	16	31	27	14	30	22	7	17	18	36	3	9	1	42	2	67	1	3		2		348

# 危険物製造所等設置状況

(令和2年12月31日現在)

区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				総 計		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計	
市 町 別 対 象 数	東 金 市	12	41	22	1	23		39	20	146	30	2	18	50	208	
	山 武 市	3	23	26	2	21		42	2	116	38		21	59	178	
	大 網 白 里 市		2	5		9		3	1	20	18		6	24	44	
	九 十 九 里 町	3	12	7	1	6		1	2	29	8		2	10	42	
	芝 山 町		11	3		13		2	1	30	25		6	31	61	
累 年 状 況 数	令和2年	18	89	63	4	72		87	26	341	119	2	53	174	533	
	令和元年	19	85	72	4	72		84	26	343	120	2	55	177	539	
	平成30年	19	85	75	4	71		82	28	345	122	2	55	179	543	
類 別 数	単	第1類	1							1					1	
		第2類														
		第3類														
	独	第4類	9	80	63	4	72		87	26	332	119	2	52	173	514
		第5類		2							2				2	
		第6類														
混 在	9	6							6			1	1	16		

※ 完成検査済施設数にて記入

---

---

# 指 令

---

---





# 通信指令システム機器一覧

(令和3年4月1日現在)

## 指令課情報管理室

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	情報共有端末装置	本体・ディスプレイ等	1式
	情報共有表示装置	65型ディスプレイ	1台
	車両運用表示盤	65型ディスプレイ	1台
	119ヘルプ機能用電話機		1台
	無停電電源装置		1台
	消防OAシステム	情報連携装置	1台
	災害状況等自動案内装置	NTTテレトキー (10回線)	1台
	可搬型端末装置 (指揮隊用)		4台
	ネットワーク設備	アクセスルータ等	2台
	ウェザーニューズ気象観測装置	観測装置	1式
消防本部	自動気象観測装置	気象情報表示盤・観測装置	1式
	署所監視用装置 (モニター用パソコン)	署所監視用カメラネットワーク中継	1台
	情報収集用TV	32インチTV	1台
	119迂回用電話機		2台
	衛星携帯電話		1台
県	千葉県防災行政無線システム	一斉受令端末装置・テレビ会議装置等	1式
	千葉県防災情報システム	防災情報システムパソコン	1台
市町関係	東金市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	山武市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	大網白里市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	九十九里町防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	芝山町防災行政無線	遠隔制御装置	1台

## 消防署・分署・出張所

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	署所端末装置		7台
	無線指令受付装置		7台
	駆けつけ通報装置	駆けつけ通報電話機・監視カメラ	6式
	指令情報出力装置	本体・ディスプレイ等	7式
	無停電電源装置		7台
	署所用非常用発動発電機		2台
	車両運用表示盤	15車両用1台・8車両用6台	7台
	避雷装置	高速電源避雷器7台 (高速回線避雷器1台)	7台

## 各車両

	機器項目	構成機器	数量
車両	車両運用端末装置 (Ⅲ型)	ナビ・GPS付AVM装置	32台
	車両運用端末装置 (Ⅱ型)	GPS付AVM装置	6台

# 消防救急無線施設の状況

(令和3年4月1日現在)

## <消防救急デジタル無線システムの概要>

ちば消防共同指令センター 無線統制局 (千葉市消防局内)	無線回線制御装置	指令センターに配備され、各基地局の監視制御、 基地局無線回線の制御、指令センター設備と無線 通信回線の接続制御を行うための装置	
	無線統制卓	無線統制を行うため、指令系装置及び遠隔制御器 より上位に位置し、通信統制に係る処理が優先さ れる	
	基地局名	施設名	指定通信エリア
共通波基地局	県域消防長生	長生合同庁舎	東金市・大網白里市・九十九里町
	県域消防匝瑳	海匝土木事務所	山武市・芝山町
活動波基地局	県域消防山武	山武土木事務所	東金市・大網白里市・九十九里町
	県域消防山武芝山	芝山分署	山武市・芝山町
消防本部指令課情報管理室	遠隔制御器	管轄エリア内の消防救急車両等と無線通信を行う ための装置	

## <所属別の無線通信設備等の状況>

区分	所属別								計
	消防本部	中央消防署	九十九里分署	東消防署	山武分署	芝山分署	南消防署	白里出張所	
卓上型固定移動局無線装置 (D)	1								1
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
卓上型固定移動局無線装置 (A)	1								1
実装～防災相互波									
車載型移動局無線装置 (D)	5	10	4	5	4	4	4	3	39
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
可搬型移動局無線装置 (D)	1	1	1	2	1	1	2	1	10
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
携帯型移動局無線装置 (D)	5	10	4	5	4	4	4	3	39
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
携帯型移動局無線装置 (A)	1								1
実装～防災相互波									
車載型受令機 (D)	2								2
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪									
署活動用トランシーバー	8	28	13	17	9	9	13	4	101

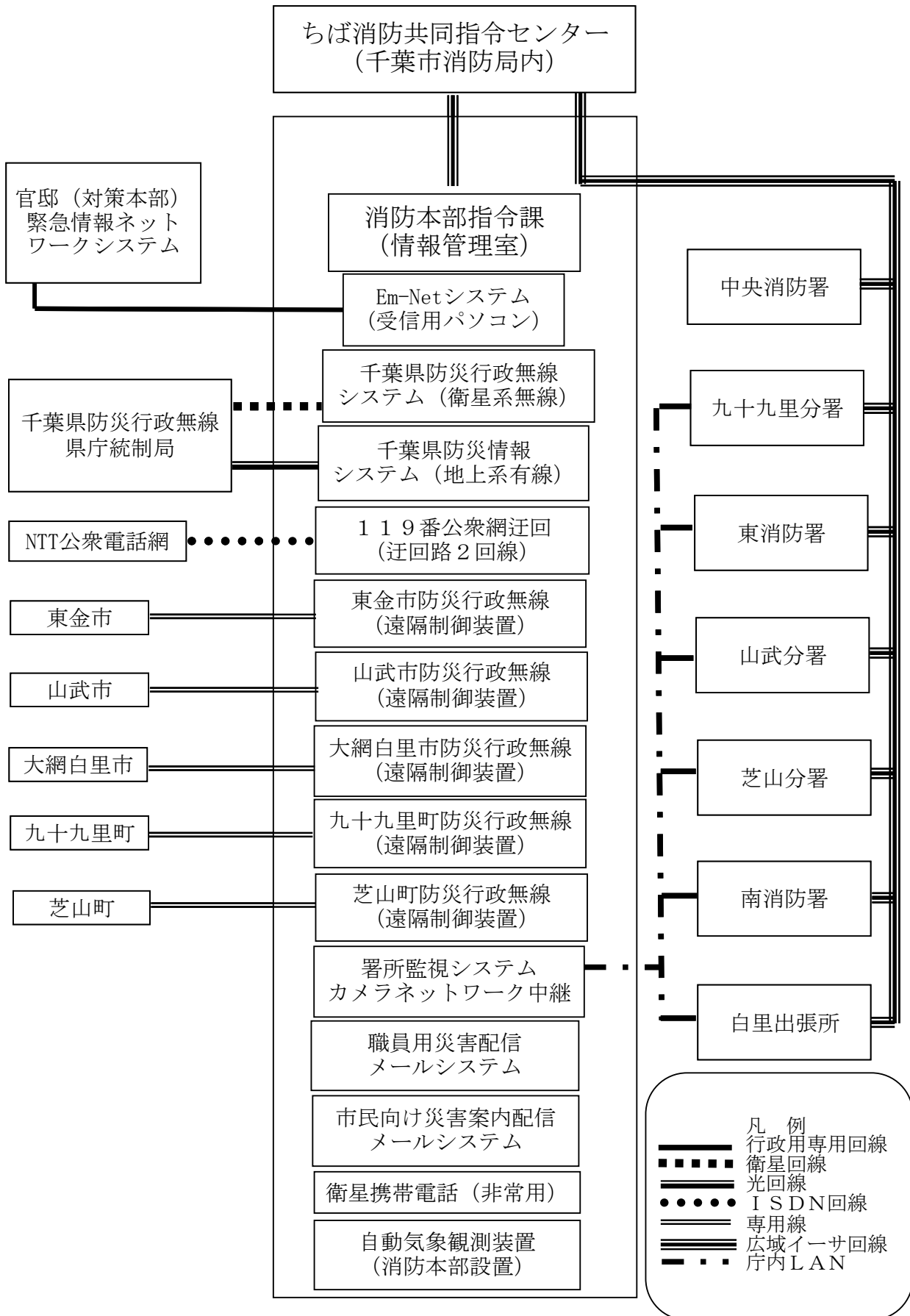
特記事項～ (D) はデジタル、(A) アナログ

## 消防救急デジタル無線 (260MHz帯)

- ① 共通波 (統制波) 3波
- ② 共通波 (主運用波) 1波 (千葉県)
- ③ 共通波 (主運用波) 7波
- ④ 活動波 (山武郡市広域行政組合消防本部) 3波
- ⑤ 活動波 (千葉市消防局) 9波～隣接応援時
- ⑥ 活動波 (成田市消防本部) 4波～隣接応援時
- ⑦ 活動波 (富里市消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑧ 活動波 (長生郡市広域市町村圏組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑨ 活動波 (匝瑳市横芝光町消防組合消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑩ 活動波 (香取広域市町村圏事務組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑪ 活動波 (佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部) 4波～隣接応援時

# 通信系統図（消防救急無線系を除く）

（令和3年4月1日現在）



## 無線従事者選任状況

(令和3年4月1日)

区分	所 属	消 防 本 部	中 央 消 防 署	九 十 九 里 分 署	東 消 防 署	芝 山 分 署	山 武 分 署	南 消 防 署	白 里 出 張 所	合 計
選 任 者		48	58	19	34	20	20	34	12	245

## 119番着信状況

(令和2年)

項目 月別	災 害					問 合 せ	間 違 え	試 験	そ の 他	計
	火 災	救 急	救 助	そ の 他	続 報					
1月	3	833	3	129	46	144	51	37	76	1,322
2月	21	665	12	98	52	125	44	27	58	1,102
3月	15	738	14	109	47	98	53	41	55	1,170
4月	8	572	9	72	39	136	92	17	90	1,035
5月	6	602	10	66	44	132	91	10	115	1,076
6月	7	686	5	64	42	104	52	30	66	1,056
7月	5	714	9	72	42	110	56	32	84	1,124
8月	6	803	16	90	47	150	51	13	108	1,284
9月	7	721	5	67	62	118	65	23	79	1,147
10月	3	716	11	97	28	78	46	34	60	1,073
11月	6	674	7	83	27	82	47	35	68	1,029
12月	8	731	8	161	65	93	86	31	89	1,272
計	95	8,455	109	1,108	541	1,370	734	330	948	13,690

※ちば消防共同指令センター統計参照



# 気象情報受理状況

千葉県北東部調べ  
(令和2年)

種別 月別	警 報							計	注 意 報											計						
	大 雨	洪 水	大 雪	暴 風	暴 風 雨	波 浪	高 潮		暴 風 雪	大 雨	洪 水	大 雪	強 風	風 雪	波 浪	高 潮	濃 霧	雷 電	乾 燥		な だ れ	着 氷	着 雪	融 雪	霜	低 温
1月	2					8		10	6	5		37		50		9	15	19								141
2月												30		46		12	17	34								139
3月												48		65		13	21	41					15			203
4月		1		10		12		23	19	11		32		47		4	32	26					11			182
5月									7			20		31		31	22	3								114
6月									8	2		21		37		49	49									166
7月	3							3	29	5		51		68		39	77									269
8月									8					2		62	64									136
9月						3		3	9	3		16		80		16	85									209
10月									11	3		22		43		9	7	2								97
11月												11		18		5	4	15								53
12月												22		29		10	3	28								92
計	5	1		10		23		39	97	29		310		516		259	396	168						26		1,801

# 気象状況

観測 消防本部  
(令和2年)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 ℃	最高	16.9	17.0	21.8	22.9	28.2	32.4	31.4	35.7	35.0	25.4	24.3	15.8
	最低	0.9	-2.9	0.6	4.7	10.1	12.9	17.2	20.9	8.1	8.1	5.6	-2.3
	平均	6.8	7.8	10.4	12.6	18.9	22.2	24.0	27.4	23.9	16.9	13.6	7.1
湿度 %	最高	98.2	98.3	98.5	98.2	98.2	98.1	98.6	95.8	98.3	98.5	96.9	97.7
	最低	52.0	46.3	51.7	56.8	55.3	77.4	79.0	79.5	83.5	72.5	65.5	49.9
	平均	81.4	72.6	79.4	78.3	86.1	91.5	93.9	89.6	92.3	89.8	84.2	79.2
最多風向		N	N	NNW	SSW	SSW	SSW	SW	SSW	NE	N	N	N
天候 日数	晴	11	17	15	17	13	11	1	28	9	10	4	18
	曇	10	7	6	4	9	7	12	0	7	8	13	7
	雨	10	5	10	9	9	12	18	3	14	13	10	6
	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
雨量mm		123.0	25.0	140.0	129.5	104.0	177.0	222.5	6.0	155.5	181.0	16.5	22.5

# 緊急通報取扱状況

(令和2年)

月別	覚知別	報 知 電 話	加 入 電 話	携 帯 電 話	警 察 電 話	そ の 他	計
	災害別						
1月	火災	1		1	1		3
	救急	499	11	431	22	12	975
	その他	9	1	14	1	1	26
2月	火災	7	1	12	1		21
	救急	420	5	325	15	8	773
	その他	11		12	1	3	27
3月	火災	4		10	1		15
	救急	447	10	370	15	8	850
	その他	8		4	2	4	18
4月	火災	3		5			8
	救急	337	4	292	10	4	647
	その他	15	1	3			19
5月	火災	4		1			5
	救急	321		346	13	5	685
	その他	8		7	5	4	24
6月	火災	1		6			7
	救急	401	7	330	15	7	760
	その他	5	1	6	4	4	20
7月	火災	2		4	2		8
	救急	390	3	367	12	14	786
	その他	10	1	10	2		23
8月	火災	2		4			6
	救急	429	9	434	17	14	903
	その他	11	2	10	3	9	35
9月	火災	3		4	2		9
	救急	365	1	420	28	7	821
	その他	10	1	10	4		25
10月	火災	4					4
	救急	406	6	381	16	13	822
	その他	9	1	11	1	4	26
11月	火災	3	2	1	2		8
	救急	371	6	389	14	3	783
	その他	9	2	5	2	5	23
12月	火災	2		7	2		11
	救急	437	11	418	13	9	888
	その他	11	1	16	4	5	37
計	火災	36	3	55	11		105
	救急	4,823	73	4,503	190	104	9,693
	その他	116	11	108	29	39	303

---

---

# 警 防

---

---





# 消防自動車等の配置状況

(令和3年4月1日現在)

所属	車両名称	車両番号	車種	年式	出力(cc)	緊急消防援助隊登録	千葉県消防広域応援隊登録
消防本部	指令車	千300ら5001	トヨタ	平成16年	2,990		
	連絡車	千503に6322	スズキ	令和2年	1,240		
	連絡車	千503そ7746	ニッサン	平成29年	1,490		
	連絡車	千500ふ3019	トヨタ	平成12年	1,490		
	連絡車	千562に・・55	ニッサン	平成27年	1,990		
	マイクロバス	千22 さ8995	トヨタ	平成9年	4,160		
	予防査察車	千800す4360	ニッサン	平成14年	1,990	○	●
	広報車	千501な5162	ニッサン	平成15年	1,490		
	調査車	千800そ5928	ニッサン	令和2年	2,480		
	指揮統制車	千800さ2586	トヨタ	平成11年	2,980		●
	高規格救急車	成830さ1412	トヨタ	平成21年	2,690		
中央消防署	指揮車	千830さ3601	トヨタ	平成31年	2,690		
	消防ポンプ自動車	千830す1191	日野	平成27年	4,000		
	化学車	千830せ1192	日野	平成27年	6,400	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す2251	イスズ	平成13年	8,220		
	救助工作車Ⅲ型	千830さ3690	日野	平成28年	8,860	○	●
	支援車	千830さ3640	日野	平成25年	6,400	○	●
	梯子車	千830さ3685	イスズ	令和元年	15,680		
	高規格救急車	千830た2500	トヨタ	平成30年	2,690		
	高規格救急車	千830せ2501	トヨタ	令和2年	2,690	○	●
	連絡車	千502み5327	ニッサン	平成25年	1,990		
九十九里分署	消防ポンプ自動車	千830た9901	日野	平成28年	4,000	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千831ほ・119	イスズ	平成20年	5,190		
	高規格救急車	千830す4550	トヨタ	平成29年	2,690		
	指揮支援車	千830さ9109	トヨタ	平成30年	2,690		
	指揮支援車(トレーラ)	千800る1459	—	令和2年	—		
東消防署	指揮車	成800さ1460	トヨタ	平成26年	2,690		●
	消防ポンプ自動車	成830さ3611	日野	平成28年	4,000	○	●
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す9748	イスズ	平成16年	7,160		
	救助工作車Ⅱ型	成830さ・109	日野	令和2年	5,120		●
	高規格救急車	成830せ3119	トヨタ	令和2年	2,690		
	連絡車	成500そ8382	ニッサン	平成25年	1,990		
芝山分署	水槽付き消防ポンプ自動車	千800さ5927	イスズ	平成12年	8,220		
	化学車	成830そ・119	イスズ	平成20年	5,190	○	●
	高規格救急車	成830す1412	トヨタ	平成30年	2,690		●
	指揮支援車	成830さ・233	トヨタ	平成29年	2,690	○	●
	指揮支援車(トレーラ)	成800る・170	—	平成30年	—		
山武分署	水槽付き消防ポンプ自動車	千800さ9801	イスズ	平成13年	8,220		
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800は1417	イスズ	平成18年	7,160		
	高規格救急車	成830さ・・20	トヨタ	平成29年	2,690		
	指揮支援車	成830さ1874	イスズ	平成31年	2,990		
南消防署	指揮車	千830さ3731	トヨタ	平成28年	2,690		
	消防ポンプ自動車	千830す3208	日野	平成26年	4,000		
	水槽付き消防ポンプ自動車	千800す5604	イスズ	平成15年	8,220	○	●
	高規格救急車	千830せ3208	トヨタ	平成30年	2,690		
	連絡車	千502み5326	ニッサン	平成25年	1,990		
白里出張所	消防ポンプ自動車	千830さ2030	イスズ	平成23年	2,990		●
	高規格救急車	千830す2030	トヨタ	平成29年	2,690		
	連絡車	千80 あ・551	三菱	平成6年	650		

# 消防機材配置状況

(令和3年4月1日現在)

区分	所属								計	区分	所属								計			
	機材名										機材名											
一般救助器具	三連梯子		3	2	4	2	2	3	1	17	測定器	検電器	2	4		2			2			10
	かぎ付梯子		4	2	4	2	2	2		16	可燃性ガス測定器			7	2	4	1	2	3			19
	ワイヤー梯子		1		1					2	有毒ガス測定器			7		2			1			10
	救命索発射銃		1		1				1	3	携帯型化学検知器			1		1						2
	縛帯		4		4	2	2	5		17	生物剤検知器			1		1						2
	サバイバースリング		4		1				1	6	放射線測定器			8	1	5	1	1	2	1		19
	平担架		1		1				1	3	個人線量計			24	4	14	4	4	7	4		61
	バスケット担架	2	2		1	1	1	1		8	送排風器			1		1						2
	滑車	1	12		22	9	7	7		58	陽圧送風機			3	1	1						5
	緩降機		2							2	エアライン			1								1
	ソフトランディング		1		1				1	3	赤外線熱画像カメラ	1	1		1				1			4
	航空機災害用担架		3		50	93				146	簡易熱画像直視装置				1		1	1				3
	油圧救助器具		1		4					5	簡易画像探索器			1		1						2
	マット型空気ジャッキ		5		6	3	3	5		22	信号付投光器			3	1	2			1			7
	マンホール救助器具		2		1				1	4	画像探索機			1								1
	可搬式ウインチ		1	1	2	1	1	3		9	地中音響探知機			1								1
	チェーンブロック		1							1	熱画像直視装置			1		1						2
	スリングワイヤー		14	3	4	7	10	15	3	56	夜間用暗視装置			5								5
	エンジンカッター		3	2	4	3	2	4	1	19	地震警報器			1								1
	チェーンソー	1	4	3	5	3	4	3	1	24	電磁波探査装置			1								1
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー		1							1	二酸化炭素探査装置			1								1	
油圧カッター		3		1				1	5	大型除染シャワーテント			1								1	
エアーカッター		1						1	2	除染シャワー			2								2	
鉄線カッター	1	4	2	4	2	2	3	1	19	除染剤散布器			3								3	
エアーソー		1		1	1	1	1		5	除染(オゾン)装置			1								1	
酸素切断機				1					1	高圧活線警報器	5	12		8			3				28	
レシプロソー	1	2		1				1	5	防毒マスク					15						15	
エンジンポンプ		1	1			1	1		4	放射線防護服			4		5						9	
ハンドポンプ		1							1	陽圧式化学防護服			7		5						12	
スプレッダー		3		1				1	5	化学防護服			48	15	26		9	18			116	
コンピネーションツール		2	1	1		1			5	耐熱服			4			2					6	
ラムシリンダー		1		1				1	3	耐電衣・上下			13	3	6	2	2	7			33	
削岩機		1		2					3	耐電手袋			13	5	10	2	2	9	2		43	
万能斧	1	11	5	5	3	2	7	3	37	耐電長靴			13	5	8	2	2	7	2		39	
携帯用コンクリート破壊器具		1		1					2	安全帯			15	3	8	4	5	2			37	
大ハンマー		3	2	2	1	1	3	1	13	蛍光チョッキ	65	31	9	14	11	9	13	7			159	
電気ハンマードリル		1		1					2	携帯警報器			22	3	14		3	9			51	

# 消防機材配置状況

(令和3年4月1日現在)

区分	所属								計	区分	所属								計		
	機材名	消防本部	中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署	南消防署			白里出張所	機材名	消防本部	中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署		南消防署	白里出張所
呼吸器	空気呼吸器	21	9	22	8	9	16	4	89	その他	船外機	1								1	
	空気ボンベv8.0(15Mp)	32	1	14	7	6	17	1	78		エコファイターノズル	2	2	2				2		8	
	” v4.7(30Mp)軽量	18		8			6		32		ガンタイプノズル	8	3	2	2	2	2			19	
	” v6.8(30Mp)軽量	51	25	29	20	16	23	7	171		ミラクルフォーム	21	12	13				12		58	
	” v9.0(30Mp)軽量	12							12		発電式投光器一式	2	1	3	2	2	5	1		16	
	” v9.2(30Mp)軽量	2							2		ジェットシューター	9	7	6	6	9	12	4		53	
	” v10.0(15Mp)						2		2		ウォーターチャージャー	2	2	2	1	1	1			9	
	” v10.2(15Mp)	20							20		エアフォームノズル	2	1	2	3	2	2	1		13	
	酸素呼吸器	5		3					8		の簡易発泡器					1	1			2	
	” v2.0(200ℓ)	10		9					19		中発泡器	1								1	
	” v2.0(300ℓ)	17	5	13	3	5	13	2	58		ラインプロポーションナー	1	1	2	2	3	2	1		12	
	” v2.8(200ℓ)	2							2		携帯用ハンドマイク	3	9	4	7	4	5	6	1	39	
	” v6.9(1000ℓ)			5					5		フオグガン			4	3	4	3	3	1	18	
	” v10.3(1500ℓ)	27	4	26	3	4	19	2	85		ストレッチャー(樹脂製)	1								1	
	簡易呼吸器	15		6			6		27		スローバック	5						1		6	
	防塵マスク	5		6					11		救助用伸縮棒	1		1						2	
	水	ウェットスーツ	6	13	4	4		4	31		浮沈ブーツカバー	5								5	
	避難救助器	水難用ヘルメット	10	11	3	4		4	32												
		水難用手袋	10	8	5	4		4	31												
水難用ブーツ		13	3	4			4	24													
レスキューボード		1	1					2													
救助用胴付き長靴		10	5					15													
レスキューチューブ		1	3	2	3		2	1	12												
救命胴衣		19	27	14	23	10	11	20	130												
拡張ボート		2		2			2		6												
救命浮環		3	9	3	7	3	2	3	32												
スバリ		4	2	2	2	2	4		16												
水中眼鏡		10	2	4			3	2	21												
浮きロープ		1	1	4	1	1	1	2	12												
フローティング担架		1	1						2												
水中無線機		1							1												
水面救助用ドライスーツ		5							5												
ドライスーツ		10	6						16												
水中投光器		1							1												
落水者リカバリーシステム		1							1												
車両移動器具		2							2												
その他	衛星携帯電話	2	1					3													
	コンクリート探知機	1						1													
	放射温度計	1	2					3													
	エアーテント	3						3													
	合成界面活性剤泡消火薬剤	36	11	4	72	4	8	3	138												
水成膜泡消火薬剤	28		2		2			32													
耐アルコール泡消火薬剤	12			15				27													

## 消 防 団 員 数

(令和3年4月1日現在)

市町名 階 級		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		団 長	1	1	1	1	
副 団 長	8	10	4	5	5	32	
分 団 長	7	26	4	16	21	74	
副 分 団 長	14	13	4	8	7	46	
部 長	16	47	12	19	17	111	
班 長	28	94	27	130	51	330	
団 員	367	549	332	131	239	1,618	
計	441	740	384	310	341	2,216	

## 消 防 団 車 両 数

(令和3年4月1日現在)

市町名 車 種		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		指 揮 車	1	3	1	1	
水 槽 付 ポンプ車	13	12	13	10	6	54	
普 通 ポンプ車		4		5	1	10	
積 載 ポンプ車	15	30	13	4	10	72	
電 源 照 明 車			1			1	
水 槽 車	1				1	2	
資 材 車	1	1		2		4	
広 報 車			1		1	3	
消防緊急自動二輪	3	3				6	
計	34	55	28	22	20	159	

## 管 内 消 防 水 利 一 覧 表

(令和3年4月1日現在)

市町名 種 別		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
		消 火 栓	763	924	760	213	
貯 水 槽	40 m <sup>3</sup> 以上	146	369	211	34	267	1,027
	40 m <sup>3</sup> 未 満	349	474	7	60	47	937
貯 水 池		11	14		1	26	
河 川	4	12	46		2	64	
プ ー ル	10	15	10	7	2	44	
消 火 井 戸	74	9		334	2	419	
計	1,346	1,814	1,048	648	372	5,228	



# 消 防 機 関 の 出 動 状 況

(令和2年)

区分		種別	計	火 災	風水害等 の 災 害	演 習 ・ 訓 練 等	救 急	救助活動	広 報 ・ 指 導
消 防 本 部	出 動 回 数		377						5
	出 動 延 人 員		816			3			10
中 央 署 管 内	出 動 回 数		5,449	39	2		4,294	109	44
	出 動 延 人 員		18,299	454	8		12,882	1,061	170
東 署 管 内	出 動 回 数		3,937	32	1	5	2,976	35	84
	出 動 延 人 員		13,413	426	4	83	8,928	298	349
南 署 管 内	出 動 回 数		3,382	15	1		2,757	42	37
	出 動 延 人 員		11,229	193	4		8,271	437	165
合 計	出 動 回 数		13,145	86	4	5	10,027	186	170
	出 動 延 人 員		43,757	1,073	16	86	30,081	1,796	694

区分		種別	警防調査	火災調査	特別警戒	捜 索	予防査察	誤 報	その他
消 防 本 部	出 動 回 数		1	51			320		
	出 動 延 人 員		2	120			681		
中 央 署 管 内	出 動 回 数		62	24			240	96	539
	出 動 延 人 員		225	90			840	589	1,980
東 署 管 内	出 動 回 数		39	30			241	56	438
	出 動 延 人 員		132	132			955	380	1,726
南 署 管 内	出 動 回 数		17	6			118	40	349
	出 動 延 人 員		54	25			436	290	1,354
合 計	出 動 回 数		119	111	0	0	919	192	1,326
	出 動 延 人 員		413	367	0	0	2,912	1,259	5,060

## 救急活動状況と過去5年間の比較

(平成28年～令和2年)

区分	年別 事故種別	28年	29年	30年	令和元年	2年
出場件数	計	10,193	10,551	10,910	11,100	10,027
	火災	53	48	65	55	49
	自然災害	6	1	1	13	
	水難	17	16	20	11	34
	交通事故	994	975	904	822	671
	労働災害	95	98	106	115	102
	運動競技	48	51	77	53	17
	一般負傷	1,315	1,376	1,472	1,540	1,432
	加害	64	75	67	37	57
	自損行為	94	100	108	93	99
	急病	6,391	6,646	6,833	7,160	6,454
	その他 (上記のうち不搬送)	1,116	1,165	1,257	1,201	1,112
搬送人員	計	8,754	8,874	9,061	9,085	7,995
	火災	7	8	16	19	7
	自然災害	7	1		2	
	水難	10	8	5	2	6
	交通事故	967	922	801	722	558
	労働災害	88	94	102	110	94
	運動競技	43	48	72	51	16
	一般負傷	1,127	1,137	1,224	1,294	1,154
	加害	35	52	42	24	30
	自損行為	61	63	69	53	52
	急病	5,426	5,523	5,618	5,752	5,084
	その他	983	1,018	1,112	1,056	994
一日平均	出場件数	27.9	28.9	29.9	30.4	27.4
	搬送人員	24.0	24.3	24.8	24.9	21.8
月平均	出場件数	849.4	879.3	909.2	925.0	835.6
	搬送人員	729.5	739.5	755.1	757.1	666.3

## 応急手当普及講習実施状況

(令和2年)

種別	普通救命講習		上級救命講習		応急手当入門コース		その他の講習	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
平成7年～平成29年	1,305	26,045	74	1,781			817	33,164
平成30年	85	1,867	4	146	9	657	45	1,824
令和元年	64	1,384	5	122	16	647	41	1,618
令和2年	16	250	2	40	0	0	8	153
合計	1,470	29,546	85	2,089	25	1,304	911	36,759

## 救急隊別出場状況

(令和2年)

事故種別 救急隊別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
中央消防署 第1救急隊	14		8	115	11	5	227	5	23	912	178	1,498
第2救急隊	2		2	114	15	2	200	13	18	953	179	1,498
九十九里分署			7	85	13		188	5	12	832	156	1,298
東消防署	15		4	111	15	1	170	5	9	884	167	1,381
芝山分署	2		2	50	19	1	93	2	2	383	47	601
山武分署	5		3	51	9	3	159	15	10	692	47	994
南消防署	10		3	104	11	4	250	8	14	1,155	266	1,825
白里出張所	1		5	41	9	1	145	4	11	643	72	932
予備救急隊												0
計	49	0	34	671	102	17	1,432	57	99	6,454	1,112	10,027

## 市町別救急発生状況

(令和2年)

事故種別 市町別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
東金市	16 2			226 17	28	6	451 1	24	43 2	2,058 1	377	3,229 23
山武市	17		2	167 21	28	6	362 2	20 1	20 1	1,791 5	237 1	2,650 31
大網白里市	3		3	122 10	11	3	407	8	25	1,709 1	291	2,582 11
九十九里町	5		19 10	55 9	18		143	3	5	606	155 2	1,009 21
芝山町	4 1			35 7	16	2	61	1	2	253 3	49	423 11
管外	1			1 1	1		5		1	27		36 1
計	46 3	0	24 10	606 65	102	17	1,429 3	56 1	96 3	6,444 10	1,109 3	9,929 98

※ 下段は、応援出動のため計上せず

# 月別救急出場状況

(令和2年)

月別	事故種別		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
	件数(人)		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
1	出動件数	998	3			49	5	3	128	1	9	678	122
	搬送件数	805				39	5	3	110	1	4	535	108
	搬送人員	812				44	5	3	110	1	4	537	108
2	出動件数	814	10		6	53	7	3	109	4	4	529	89
	搬送件数	638			2	39	7	3	88	2	2	415	80
	搬送人員	644			2	45	7	3	88	2	2	415	80
3	出動件数	889	5		3	52	8		118	8	9	574	112
	搬送件数	679	2			37	7		96	4	6	427	100
	搬送人員	689	2			45	7		96	5	6	428	100
4	出動件数	665	3			29	11		82	4	6	454	76
	搬送件数	522	1			22	11		69	3	4	349	63
	搬送人員	524	1			22	11		69	3	4	351	63
5	出動件数	707	2		1	45	7		125	5	4	438	80
	搬送件数	564				35	6		96	3	4	349	71
	搬送人員	568				38	6		96	3	4	350	71
6	出動件数	778	4		1	59	11		114	1	6	489	93
	搬送件数	638				46	9		88		3	402	90
	搬送人員	642				50	9		88		3	402	90
7	出動件数	812	3		1	53	6	1	122	6	12	525	83
	搬送件数	643				37	6	1	98	3	8	413	77
	搬送人員	644				37	6	1	98	3	8	414	77
8	出動件数	951	4		17	63	14	2	135	6	13	608	89
	搬送件数	739	1		2	47	13	2	110	3	4	476	81
	搬送人員	745	1		2	52	13	2	110	3	4	477	81
9	出動件数	845	7		2	71	9	6	118	6	12	539	75
	搬送件数	649	2		1	58	8	5	89	1	4	414	67
	搬送人員	657	2		1	66	8	5	89	1	4	414	67
10	出動件数	844				65	4		118	5	9	521	122
	搬送件数	681				48	4		95	2	3	428	101
	搬送人員	683				50	4		95	2	3	428	101
11	出動件数	802	2		3	65	15	2	110	5	4	516	80
	搬送件数	662			1	52	14	2	93	3	3	420	74
	搬送人員	664			1	54	14	2	93	3	3	420	74
12	出動件数	922	6			67	5		153	6	11	583	91
	搬送件数	716	1			49	4		122	4	7	447	82
	搬送人員	723	1			55	4		122	4	7	448	82
合計	出動件数	10,027	49		34	671	102	17	1,432	57	99	6,454	1,112
	搬送件数	7,936	7		6	509	94	16	1,154	29	52	5,075	994
	搬送人員	7,995	7		6	558	94	16	1,154	30	52	5,084	994
搬送者程度	死亡	138			1				2		5	130	
	重症	827	1		2	32	11		78		7	500	196
	中等症	3,995	3		2	137	42	8	487	7	29	2,555	725
	軽症	3,035	3		1	389	41	8	587	23	11	1,899	73
	その他計	7,995	7		6	558	94	16	1,154	30	52	5,084	994

## 曜日別救急出場状況

(令和2年)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
曜日別	日	6		4	136	16		218	3	15	964	181	1,543
	月	8		3	88	20		180	8	10	871	179	1,367
	火	7		11	110	13		190	6	16	949	184	1,486
	水	10		1	74	19	3	192	6	20	884	162	1,371
	木	6		4	90	14	1	192	11	12	928	192	1,450
	金	8		2	83	12	5	222	11	11	849	126	1,329
	土	4		9	90	8	8	238	12	15	1,009	88	1,481
	計	49		34	671	102	17	1,432	57	99	6,454	1,112	10,027

## 管内管外搬送人員

(令和2年)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
管内に住所を有する者		5		1	401	46	10	1,043	27	49	4,696	805	7,083
管外に住所を有する者		2		5	157	48	6	111	3	3	388	189	912
その他													
計		7		6	558	94	16	1,154	30	52	5,084	994	7,995

## 事故種別年齢区分別搬送人員

(令和2年)

事故種別 年齢区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
新生児											3	11	14
乳幼児				1	7			75			121	13	217
少年					43		13	39	1	2	95	10	203
成人		5		2	346	72	3	223	17	37	1,424	259	2,388
老人		2		3	162	22		817	12	13	3,441	701	5,173
計		7		6	558	94	16	1,154	30	52	5,084	994	7,995

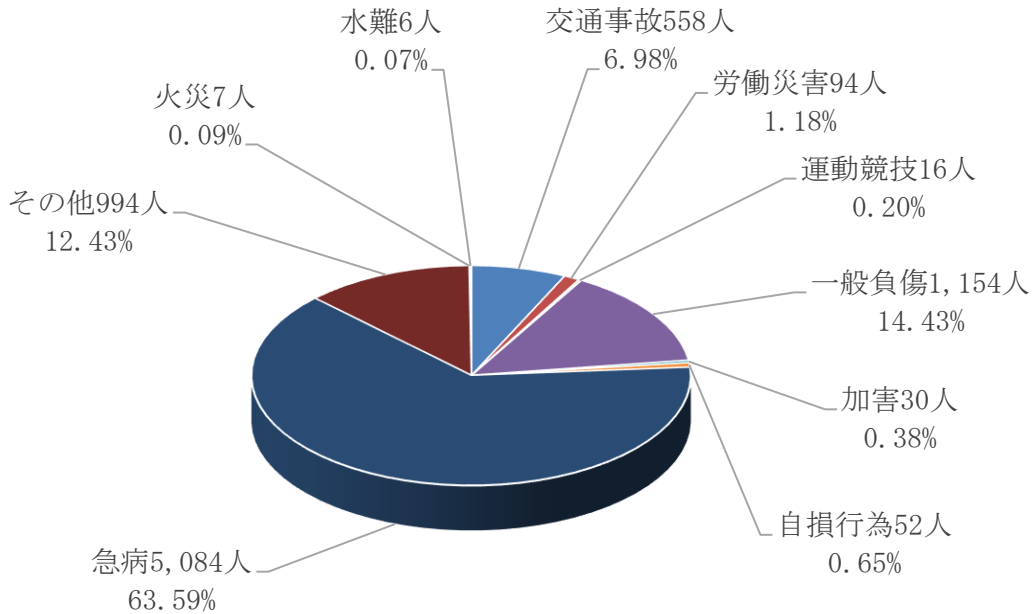
## 事故種別傷病程度別搬送人員

(令和2年)

事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡			1				2		5	130		138
重症	1		2	32	11		78		7	500	196	827
中等症	3		2	137	42	8	487	7	29	2,555	725	3,995
軽症	3		1	389	41	8	587	23	11	1,899	73	3,035
その他												
計	7		6	558	94	16	1,154	30	52	5,084	994	7,995

## 事故種別搬送人員

総搬送人員 7,995人



## 時間別救急出場状況

(令和2年)

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	計		49	0	34	671	102	17	1,432	57	99	6,454	1,112
時間別内訳	0～2	5			7	1		47	3	5	380	19	467
	2～4	7			13	1		32	2	4	243	13	315
	4～6	1			15	1		42	4	3	301	13	380
	6～8			1	65	7		96	3	7	478	11	668
	8～10	3		9	66	16	3	184	1	13	778	143	1,216
	10～12	5		1	79	24	8	200	2	14	660	260	1,253
	12～14	9		12	78	19	2	181	3	10	665	232	1,211
	14～16	4		4	89	15	1	167	3	6	661	169	1,119
	16～18	4		5	88	9	1	172	6	8	623	155	1,071
	18～20	7		1	99	4	1	162	6	12	640	52	984
	20～22	1			39	3	1	82	11	10	573	29	749
22～24	3		1	33	2		67	13	7	452	16	594	

## 事故種別応急処置状況

(令和2年)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	5,082	557	1,154	1,198	7,991
止血	32	30	115	34	211
固定	19	224	118	50	411
人工呼吸	35			5	40
心マッサージ					0
心肺蘇生	203	1	7	12	223
酸素吸入	1,092	44	53	319	1,508
気道確保	292	4	15	19	330
うち経鼻エアウェイ	2			2	4
喉頭鏡・鉗子等による異物除去	4		2		6
※ラリゲアルマスク等	34		2	3	39
※気管挿管	1		2	1	4
保温	120	16	15	23	174
被覆	34	108	307	66	515
在宅療法継続	5				5
※除細動	17			1	18
※静脈路確保	181	1	8	6	196
※薬剤投与	38		2	2	42
その他の応急処置	5,044	552	1,149	1,191	7,936
血圧測定	4,798	553	1,102	1,162	7,615
聴診器による心音・呼吸音等	896	141	136	121	1,294
血中酸素飽和度の測定	4,878	555	1,142	1,183	7,758
心電図	3,612	158	338	826	4,934

※は救急救命士が行う特定行為

# 市町別ドクターヘリ出動件数一覧表

(平成30年～令和2年)

事故種別 市町別		救 急 事 故 種 別													合 計	
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 等 器 材 送		そ の 他
平成 30 年	東 金 市				4	2		2		2	2	1				13
	山 武 市				5			3		2	6					16
	大網白里市				4	2		4			2					12
	九十九里町			1	6			1		1	1					10
	芝 山 町				3	3										6
	管 外															0
	計	0	0	1	22	7	0	10	0	5	11	1	0	0	0	57
令 和 元 年	東 金 市				1	1		2		1	1					6
	山 武 市				3	3		4			5	1				16
	大網白里市				5	1		2								8
	九十九里町			1	2			2			1	1				7
	芝 山 町							1								1
	管 外															0
	計	0	0	1	11	5	0	11	0	1	7	2	0	0	0	38
令 和 2 年	東 金 市				3	2		4			2	1				12
	山 武 市				9			5			3					17
	大網白里市				4			3			1					8
	九十九里町			3		2		2			1					8
	芝 山 町					1					1					2
	管 外															0
	計	0	0	3	16	5	0	14	0	0	8	1	0	0	0	47

※ 北総ドクターヘリ運用開始(平成13年10月)

※ 君津ドクターヘリ運用開始(平成21年1月)

※ 北総ラピッドカー運用開始(平成22年6月)

※ 実働件数(ラピッドカー含む)とし、1機体出動につき1件を、往復搬送は1件で計上



## 年別救助活動状況

(平成30年～令和2年)

事故種別		火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機 械 に よ る 故	事 建 物 等 に よ る 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外										
年 別													
平成 30 年	出 動 件 数	10	1	58	16		2	37				75	199
	活 動 件 数	10	1	24	10		2	22				8	77
	救 出 人 員	2		27	7		2	19				6	63
令 和 元 年	出 動 件 数	3		58	16	10	1	51	2			75	216
	活 動 件 数	3		22	6	5	1	29	2			7	75
	救 出 人 員	1		24	6	75	1	19				7	133
令 和 2 年	出 動 件 数	2		53	19		3	48	4			57	186
	活 動 件 数	2		23	10		1	33	3			9	81
	救 出 人 員	1		24	12		1	13	2			4	57

## 救 助 活 動 状 況

(令和2年)

事故種別		火災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 故	事 建 物 等 に よ る 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外										
区 分													
出 動 人 員	救 助 隊 員	9		247	163		11	184	15			319	948
	消 防 隊 員	27		409	196		23	350	36			650	1,691
	救 急 隊 員	6		231	96		9	144	21			207	714
	計	42		887	455		43	678	72			1,176	3,353
活 動 人 員	救 助 隊 員	9		82	70		4	114	8			34	321
	消 防 隊 員	27		147	88		7	220	29			64	582
	救 急 隊 員	3		78	21		3	51	3			18	177
	計	39		307	179		14	385	40			116	1,080
出 動 車 両	救 助 工 作 車	2		53	32		3	28	2			54	174
	水 槽 付 ポ ン プ 車	5		66	34		3	66	6			125	305
	は し ご 車											5	5
	化 学 車	1		4				2	1			11	19
	指 揮 車	4		103	39		6	96	8			113	369
	救 急 車	2		77	32		3	48	7			68	237
	計	14		303	137		15	240	24			376	1,109
活 動 車 両	救 助 工 作 車	2		16	15		1	16	2			6	58
	水 槽 付 ポ ン プ 車	5		24	14		1	45	3			12	104
	は し ご 車												
	化 学 車	1		2					1				4
	指 揮 車	4		36	16		2	58	6			15	137
	救 急 車	1		26	7		1	16	1			6	58
	計	13		104	52		5	135	13			39	361



---

---

# 火災統計

---

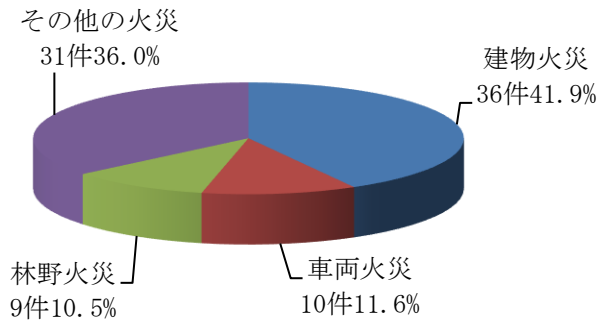
---





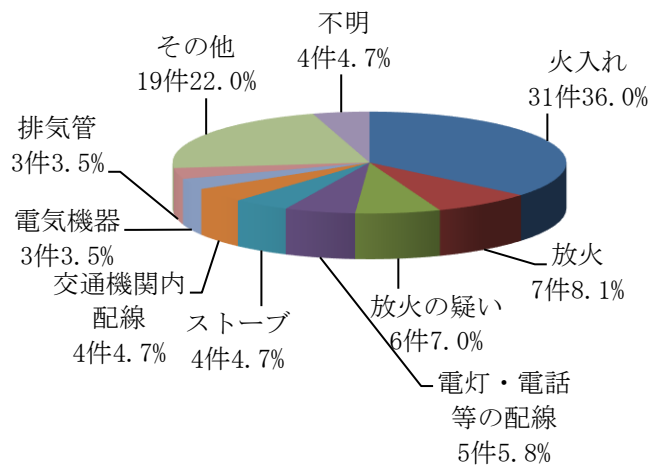
# 火災種別発生状況

火災件数 86 件



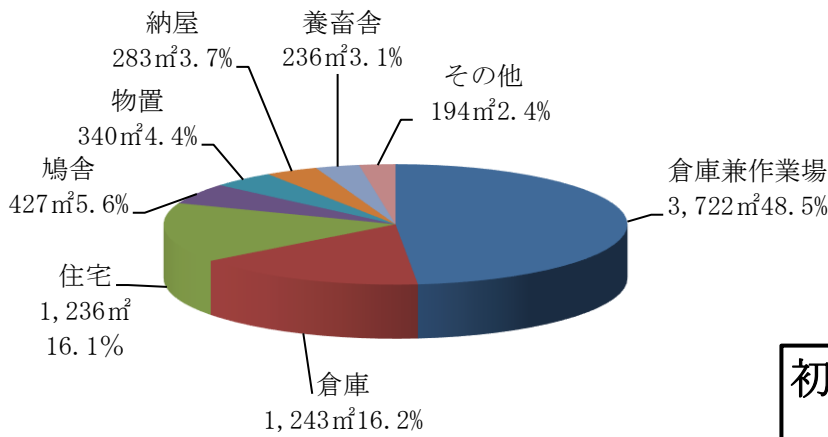
# 出火原因別火災件数

火災件数 86 件



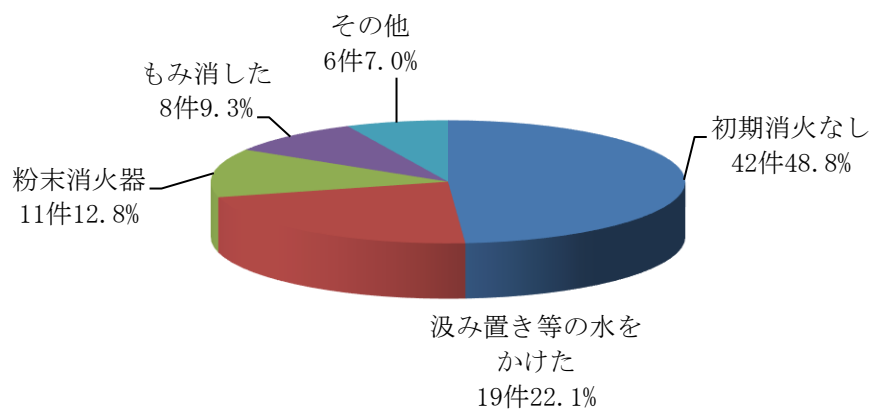
# 建物用途別焼損面積

焼損面積 7,681 m<sup>2</sup>



# 初期消火器具使用状況

火災件数 86 件



# 火災概況及び比較表

(平成30年～令和2年)

区 分		年 別		平成30年		令和元年		令和2年		昨年との比較
		平成30年	令和元年	令和2年	昨年との比較					
火災発生件数	合 計	126		108		86		△22		
	建 物 火 災	54	42.9%	47	43.5%	36	41.9%	△11		
	林 野 火 災	11	8.7%	11	10.2%	9	10.5%	△2		
	車 両 火 災	13	10.3%	8	7.4%	10	11.6%	2		
	船 舶 火 災									
	航 空 機 火 災									
	その他の火災	48	38.1%	42	38.9%	31	36.0%	△11		
焼失棟数	合 計	82		88		80		△8		
	ぼ や	30		40		30		△10		
	部 分 焼	13		17		15		△2		
	半 焼	3		5		4		△1		
	全 焼	36		26		31		5		
焼失面積	建 物 (㎡)	4,041		3,206		7,681		4,475		
	林 野 (a)	32		80		75		△5		
り災世帯数	合 計	44		47		32		△15		
	小 損	24		30		18		△12		
	半 損	2		6		3		△3		
	全 損	18		11		11				
	人 員	100		95		76		△19		
損害額(千円)	合 計	152,494		247,747		491,255		243,508		
	建 物 火 災	146,228		237,888		486,697		248,809		
	林 野 火 災	1		4,746		1,327		△3,419		
	車 両 火 災	4,448		2,261		2,941		680		
	船 舶 火 災									
	航 空 機 火 災									
	その他の火災	1,817		2,852		290		△2,562		
死傷者	死 者	5		4		3		△1		
	負 傷 者	18		20		9		△11		
1 件 平均 損害 額(千円)		1,210		2,294		5,712		3,418		
1 日 平均 損害 額(千円)		418		679		1,342		663		
建 物 火 災 の み 1 件 平均 損害 額(千円)		2,708		5,061		13,519		8,458		
建 物 火 災 の み 1 日 平均 損害 額(千円)		401		652		1,330		678		
出 火 率 (人口1万人当たり)		6.9		6.0		4.8		△1.2		

出火率=火災件数÷人口×1万人

# 市町別火災発生状況

(令和2年)

火災種別 市町別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		件数計
	件数	焼失面積	損害見積額	件数	焼失面積	損害見積額	件数	焼失数	損害見積額	件数	焼失数	損害見積額	件数	焼失数	損害見積額	件数	損害見積額	
		(㎡)	(千円)		(a)	(千円)		(台)	(千円)		(隻)	(千円)		(機)	(千円)		(千円)	
東金市	12	1,742 (表) 114	49,109	2	12	130	3	3	1,180							10	285	27
山武市	11	1,495 (表) 62	116,266	5	60	1,197	2	2	85							9	3	27
大網白里市	2	(表) 13	267				2	2	1,323							9	1	13
九十九里町	6	235 (表)	16,668				2	2	86							2	1	10
芝山町	5	4,209 (表)	304,387	2	3	0	1	1	267							1	0	9
計	36	7,681 (表) 189	486,697	9	75	1,327	10	10	2,941							31	290	86

※(表)は、表面積

# 火災件数及び損害状況

(平成23年～令和2年)

年別	件数	火災種別						焼損面積		損害額 (千円)						計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
23	223	54	22	16			131	4,352	161	372,769	3,290	4,023			3,442	383,524
24	133	61	14	8			50	4,620	51	189,448	700	5,406			3,491	199,045
25	130	51	7	8			64	2,414	21	213,275	487	694			1,215	215,671
26	113	42	2	6			63	1,805	18	110,798		963			214	111,975
27	123	53	5	10			55	1,801	7	72,937		1,611			7,034	81,582
28	92	39	3	4			46	2,393	2	117,002	18	1,678			141	118,839
29	111	34	6	6			65	1,860	8	100,625	54	474			297	101,450
30	126	54	11	13			48	4,041	32	146,228	1	4,448			1,817	152,494
元	108	47	11	8			42	3,206	80	237,888	4,746	2,261			2,852	247,747
2	86	36	9	10			31	7,681	75	486,697	1,327	2,941			290	491,255

# 月別火災発生件数及び損害状況

(令和2年)

種別 月別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		死傷者	
	件数 (件)	焼失面積 (㎡)	損害額 (千円)	件数 (件)	焼失面積 (a)	損害額 (千円)	件数 (件)	焼失数 (台)	損害額 (千円)	件数 (件)	焼失数 (隻)	損害額 (千円)	件数 (件)	焼失数 (機)	損害額 (千円)	件数 (件)	損害額 (千円)	死者	負傷者
1	3	87	13,565												1	240	1		
2	5	562	28,866	2	16	0	3	3	325						9	28			
3	2	222	10,584	4	35	682									4	5		2	
4	2	389	5,561	1	16	645	1	1	40						2	0		1	
5	3	10	194				1	1	46						2	15			
6	4	184	3,045																
7	2	259	10,881	1	0	0	1	1	267						2	1			
8	3	663	67,466				2	2	2,003						2	0	1	1	
9	5	1,186	29,486	1	8	0	2	2	260								1	3	
10	1	0	0												1	0			
11	2	3,733	278,730												2	0			
12	4	386	38,319												6	1		2	
計	36	7,681	486,697	9	75	1,327	10	10	2,941						31	290	3	9	



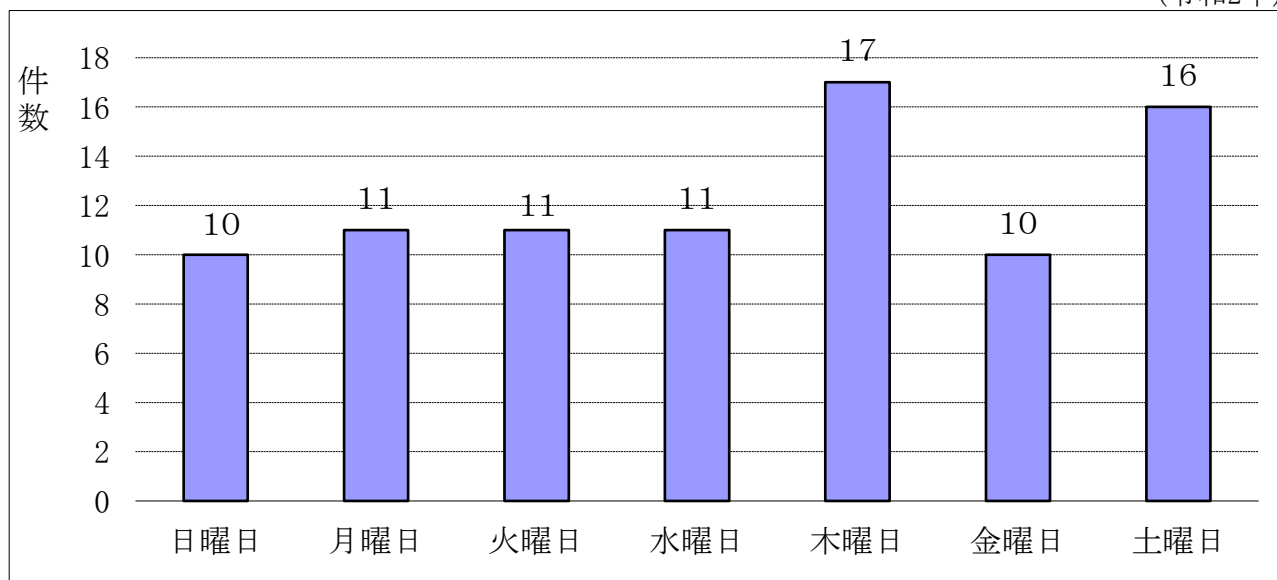
## 時間別火災発生状況

(令和2年)

時間	月別 件数	計	月別												種 別					
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
			86	4	19	10	6	6	4	6	7	8	2	4	10	36	9	10	0	0
0~1	5					1			1	1			1	1	5					
1~2	0																			
2~3	3		1	1										1	2					1
3~4	3	1	1						1						2					1
4~5	1									1							1			
5~6	0																			
6~7	1		1																	1
7~8	2	1				1									2					
8~9	0																			
9~10	4		1						2	1					2		1			1
10~11	4		1		1		1				1				1					3
11~12	8		5					2		1					2	2	3			1
12~13	9		3	1	2	2	1								2	3				4
13~14	6		2	2	1				1						3		1			2
14~15	10		1	3			1	1	1	1				2	3	2				5
15~16	7			2						2			1	2	1	2				4
16~17	4		1		1							1	1				1			3
17~18	7	1				1	1	2	1			1			3		2			2
18~19	2										1		1		2					
19~20	3			1		1								1	3					
20~21	1	1													1					
21~22	1												1							1
22~23	2							1		1					2					
23~24	2		2																	2
不 明	1				1												1			

## 曜日別火災発生状況

(令和2年)



# 年別火災原因別件数

(平成28年～令和2年)

原因別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	備考
火入れ	11	44	42	28	31	枯草、枯枝、枯葉、廃材、ごみ等の焼却及び焼却の火の粉等に分類されるもの
放火	6	8	9	4	7	経過中、放火に分類されるもの (放火自殺、放火殺人を含む)
放火の疑い	12	26	11	6	6	経過中、放火の疑いに分類されるもの (放火自殺、放火殺人を含む)
電灯・電話等の配線		3	6	7	5	電気による発熱体のうち、器具付コード、屋内配線用ケーブル等、配線に分類されるもの
ストーブ	4	4	3	5	4	電気、ガス、石油、まき、石炭等を燃料とするストーブ及びストーブの火の粉等に分類されるもの
交通機関内配線		1			4	交通機関内配線に分類されるもの
電気機器			4	6	3	電気による発熱体のうち、電池や冷蔵庫、テレビ等の電化製品に分類されるもの
排気管		1	3	2	3	排気管及び排気管の火の粉等に分類されるもの
たばこ	9	3	8	10	2	たばこに分類されるもの
こんろ	3	5	8	9	2	電気、ガス、石油、七輪、まき等を燃料とするこんろ及びこんろの火の粉等に分類されるもの
溶接機、切断機	1	5	3	1	2	溶接機、自動半田付け機、ガス油類を燃料とする溶接機・切断機等に分類されるもの
電気装置	2			2	2	電気による発熱体のうち、燃料電池、モーター等の電気装置に分類されるもの
煙突・煙道					2	煙突、煙道、排気ダクト、煙突の火の粉、汽車の煙突の火の粉等に分類されるもの
その他	39	9	25	25	9	上記のいずれにも分類されないもの
不明	5	2	4	3	4	発火源または経過が不明なもの
計	92	111	126	108	86	

## 火事と救急・救助 119

火災の問い合わせ

0475 (52) 0404

休日・夜間診療の問い合わせ

0475 (55) 0119

消防年報 令和2年版

---

発行 令和3年8月

編集 山武郡市広域行政組合消防本部・総務課企画係

〒283-0062 千葉県東金市家徳384番地2

TEL 0475 (52) 8751

FAX 0475 (55) 0131

URL : [http://www.sanbukouiki-chiba.jp/FDSANBU/1\\_TOP.html](http://www.sanbukouiki-chiba.jp/FDSANBU/1_TOP.html)

E-mail : [fd.soumu@sanbukouiki-chiba.jp](mailto:fd.soumu@sanbukouiki-chiba.jp)